	No. 34 —	1 基本事務事	事業名 阿波西	市立図書館指定	2管理に伴う連絡調整事	務 事務事	業名	阿波市立図書館指	定管理に	伴う連絡調整署	務 公的関与	7 2	一ト作成日	令和5年	6月5日
	部局名	孝	收育委員	会	課名	社会教	枚育課	主務語	课長 ^名	3	板東 毅		−ト作成者名	村	尾 茉優
	事業区分	○ 1 ソフト	事業	0	3 経常的事務	事業) 5補	i助金∙負担st	È∙支	援	美運営方法	1 直	営	✓ 3 ≦	È部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	•	4 施設の維持	管理() 6内	部管理事務	・その)他	建呂刀広	_ 2 -	-部委託	4 ¥	輔助等
		基本構想(政	(策) 3.	人が輝き	合う阿波			実施計	画			事業	の開始・終っ	<u> </u>	
	総合計画	基本計画(施)生涯学習	『の充実			● 1 該当		令和	年 年	~ 令	·和 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(1)	生涯学習	『関連施設の充	実		○ 2 非該	当	根	拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	指定管理	里者											
	事業の 対象・目的	目的(どうい	最終的	民間企業 理を図りる	のノウハウを活り ます。	用しながら	、本市 <i>σ</i>)生涯学習施	設の拠	心点として、	市民サービ	スの向上と	:効率的かつタ	効果的な施	設の運営管
PL		う状態にし たいのか)	今年度	図書館指	定管理者と連携	しながら、	計画的	な設備等の更	新を追	進めます。					
AN		具体的にどの	のような流	舌動を行し	ヽますか。(主な	もの5つま	まで)								
N		① 指定管理	者が円滑	引に図書館	運営ができるよう	うに、連携引	強化し、:	連絡調整事務	等を	行います。					
	事業の	2													
	活動内容	3													
		4													
		⑤													
		指標	名	計算式又	なお指標設定理	由単位		令和	3	年度	令和 4	年度	令和 5	年度	最終目標
	数値目標	入館者数		住足-—	ズの指標として	人	目			185,000		185,000		185,000	185,000
	(事業の目的	7 kii ii 30		正人—	ハの自身として		実			140,965		133,895			
	及び活動内	貸出冊数		住民二一	ズの指標として	I ₩	目			300,000		300,000		300,000	300,000
	容の達成度 を測る指標)	XIII		1120	バリカロ水こ して	1113	実			256,580		236,560			
	で別の指標)						目								
	- 	·		4.0	A = 1		実				111 & 40				
	予算費目	会 計	1 ^		会計			教育費	. <i>hh</i> -		5 社会教		目 5	図書館	官埋實
				3和 3	3 年度決算		4	- 年度決		令和	5 年	度予算		備考	
		国庫支出				·H			千円			千円			
		県 支 出	金			·H			千円			千円			
_	直接事業費	地 方 その他特定!	債			· Pi			千円			<u>千円</u> 千円	-		
DO						·H		01 501	千円		0.1		-		
		一般財 計(A)	源			·円		91,591 91,591	千円			,591 千円 <mark>,591</mark> 千円	-		
		正職員工数·	級弗 ∩	.500 人	<u> </u>	·円 0.50 (٦ , ١	3,021	千円	0.500		,030 千円	-		
	人件費(B)	上		.500 人	3,044 +	0.000	<i>,</i> ,	3,021	十円	0.500	\	, 030 干円			
	八八貝(口)	会計年度任用職員工		人	0 T	- E	人	0	千円		.	0 千円			
	全体事	業費(A+B)		八	94.635 ∓			94.612				.621 千円	1		

						ック項目					— <u>ү</u>	文評価		_	・次評価の	の説明			二次	評価	Ī
		1.						「確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	○ 大	こきい	指定管理の時と比	べて、入食	官者数		0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中	、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	● あ	iる	者数は増	えていま	す。		0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の回	句上のた	めに、耳	現在の手段	〕、方	法等の改善の名	余地がある。	0	ある	な	iل١					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサーヒ				隣自	治体と比較し	,てニーズを	0	いる	○ い	ない				•	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現する	ために、	事業内容	『が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	● い	える	指定管理を進めて				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化な	など、施	策への貢	献度か	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	● い	える	携強化が				0	いえない	•	いえる
CH	姓	3.	市が実施する	る施策の	中で類	似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	⊙ ∪	ない					0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	としても	成果の	向上が期	待で	きない。		0	できない	○ で	きる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進	捗状況	!が劣って	いる	と思う。		0	目標に比	とべて劣って	ている	吉野笠井	図書館エ 前年度と			0	目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成	果があ	まり上が	うて	いないと思う	j °	•	あまり上っ	がっていなし	۸,	と、利用数	数が減った	ことか	が分か	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概	ね目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達成			り、そのこ			は、減	0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	すして十	分に目	標を達成	えして	いると思う。		0	十分達成	艾している				-	•	•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコスト	が高い	۰,				0	高い	適	当	指定管理率的かつ				0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウ	ハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	⊙ で	きない	運営がで			스타파	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	∠成果の	関係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	な	il١					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の	変更な	どにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	な	١١					0	ある	•	ない
		•				_	次評	•								次評值					
	評值	五点	必要性	有交		達成原	茰	効率性	総合評	価		必要性	7	有効性	達成原	度	効率性	ŧ	総	合評	価
	△ %	後の	4 ○ 拡大・充	宝宝 1 6	· 〕現状	2 ÷維培		4 方法改善	A ○ 民間委i	华	0	4 拡大・	<u> </u> 充宝	4 ┃ ● 現状			<u>4</u> 方法改善	<u> </u>	○ 民間	A 表記	1年
		り性	○ 縮小			期設定		廃止/休止	〇 民间安市	<u> </u>				統合/終			<u> </u>		O KIE		U #
AC	75.	-	O 1111 3	10 191		///IIX/C		<i>7</i> , 71, <u>—</u>				77ILI 3		評価での					の相違点	į	
TIO	当課	題	入館者数・貸	出者数•	貸出冊	数が目標	より』	載少しているこ	とが課題です。				制度に	こよる運営詞	計画は現る	在3年	目で適切	に行	われてい		
N			指定管理者が	「様々な	取組をし	しているた	:め、	引き続き支援を	そ行います。		利	用者増加	に向け	け、改善点を	生共に考え	、助言	言や支援(に努る	めます。		
		会 事項																			

	No. 34 —	2 基本事務事						図書選定事	務		公的関		シート作成日	令和5年	
	部局名	教	育委員:		課名	社会教			課長名		板東 毅		ート作成者名		えい 業優
	事業区分	1 ソフト事			3 経常的事務			助金·負担			美運営方法		直営		部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理() 6内	部管理事務		他 ^{事 3}	医医舌刀 //	<u>√</u> 2 ·	一部委託		亅
		基本構想(政						実施詞	十画				業の開始・終う		
	総合計画	基本計画(施						● 1 該当		令和		年 ~ 台	令和 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(1)	生涯学習	『関連施設の充	実		○ 2 非該	当	根	拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	市民												
		目的(どうい う状態にし	最終的	図書館が	所蔵する資料を	充実させる	ることに。	より、市民の	生涯学習	貿活動を す	を援します。)			
PL		たいのか)			ニーズを的確に			書館で定めた	選書基	準に基づ	いて図書館	官資料を収算	集します。		
AN					ヽますか。(主な										
N)			切であるか、市					で委員3名	が審査しる	ます。			
	事業の	0			がら、市全体とし										
	活動内容)	除籍希望	とする資料	料についても、事	前に図書	選定委員	会で審査し	ます。						
		4													
		5	•	= <i> </i>		<u></u>		I A 1		I	۸ ۲-	. F#	1 477 -	<i>F</i>	
		指標名	1	計算式入	スは指標設定理	由単位] 3 全		令和		令和 5		最終目標
	数値目標	蔵書資料		市民二一	ズの指標として	点	宝 実			330,000 322,372		330,000		330,000	330,000
	(事業の目的 及び活動内						目		3	022,372		323,900	0		
	及び活動内 容の達成度						実								
	を測る指標)						目:								
							実								
	予算費目	会 計		一般	会計			教育費		項	5 社会教	教育費	目 5	図書館管	· 理費
			令		3 年度決算				央算	令和		年度予算		備考	
	予算費目	国庫支出	金		Ŧ	円			千円			千円	3		
		県 支 出	金		Ŧ	円			千円			千円	3		
	古拉東業典	地 方	債		Ŧ	円			千円			千円	3		
D	但按书本貝	その他特定則	才源		Ŧ	円			千円			千円	3		
0		一般財	源		180 T				千円			180 ∓⊬	_		
		計(A)			180 T				千円			<u>180</u> ∓⊬	_		
		正職員工数·紹		300 人	1,827	円 0.300	0 人	1,813	千円	0.300	人	<mark>1,818</mark> ∓⊬	1		
	人件費(B)	会計年度任用職員													
	A = ·	会計年度任用職員工数	·経費	人	0 =		人		千円		人	0 千円			
	全体事業	業費(A+B)			2,007 =	円		1,993	千円			<mark>1,998</mark> 千円	3		

				=	エック項	3				_	·次評ſ	m .		_	-次評価(の説E	3月		二次	* 評析	5
		1.		なくても、1	・平性・公	正性	が確保できる等 影響は大きくな		0	少なし		大き	(I)	市が設置	する図書	選定	員会で審	0	少ない		大きい
	必	2.					する緊急性が認		0	ない	•	ある		努めます		/V I	117701 -	0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の	向上のために	、現在の手	段、カ	ち法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
	1	4.	住民ニーズの 上回るサート			近隣目	自治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いな	:L\					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	に、事業内	容が必	必ずしも適切とい	まいえない。	0	いえな	ι (いえ	る		者が購入 ついて、			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への	貢献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 💿	いえ	る	い委員か	ら意見を	聞き、	全体的		いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	で類似・重	複し#	た事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなり	い	に偏りの きます。	ない蔵書	とする	ことがで	0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続る	をしても成男	見の向上が	期待つ	できない。		0	できな	い (でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗は	状況が劣っ	ている	ると思う。		0	目標に	比べて会	劣ってい	る		の特色を 体として偏			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果な	があまり上	がって	ていないと思う	5.	0	あまり_	上がってし	いない			がとして帰る		みい 殿音	0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成	してし	ハると思う。		0	概ね道	産成してに	いる						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分に	日標を達	成して	ていると思う。		0	十分這	を成して	いる						0	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	高い。				0	高い	•	適当	á	円滑に選 す。	定作業が	でき	ていま	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	つや新たな	制度で	を活用できる。		0	できる	0	でき	ない	9 0				0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員の	と成果の関係	系で、実施	手段等	等を見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない	1					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更	更などによ	りコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
						一次評	平価							•	=	次評	価				
	評値	甲	必要性	有効性	達瓦		効率性	総合評	価		必要		1	与効性	達成	芰	効率	生	総	合評	価
	△ 2	を の	4 ○ 拡大·充	4 	<u> 3</u> 見状維持		<u> 4</u> 方法改善	A ○ 民間委詞	千笙	1	<u>4</u>)拡:	大・充	<u> </u> 宝		<u>4</u> ├絣垰		4 方法改善	É		A 引委記	<u> </u>
A		句性	○ 縮小		終期設定			〇 民间安日	-				$\frac{\widehat{\Omega}}{\widehat{\Omega}}$	統合/終			<u>万么设。</u> 廃止/休		O KIE	1134	
A			0 111	10 1,500	17771177	10	<i>,,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				<u> </u>	-		評価での					の相違点	į	
TIO	当課	面の !題	市からの資料 ことが課題で	料購入予算の す。	中で、各図]書館(の蔵書構成に佩	扁りのないよう酢	配慮す					向上する。		!に努	め、利用を		ニーズやノ	バラン	えに考慮
N		革案 実行 ·画	引き続き、月るようにします		委員会で	審査を	し、全体的に偏	 りのない蔵書	構成と	 し 	·、	引用率	の向	上を図りる	ます 。						
		員会 i事項																			

	No. 34 —	3 基本事務事業	名 人格	教育∙啓	発事業	事	務事業	名人格	重教育∙啓	発事	業	1	的関与	4	シート作成	:日 :	令和5年	∓6月5日	3
	部局名	教育	育委員:		課名	衬	t会教育	課	主務詞	果長名	1	板す	〔毅	シ	ート作成	者名	杠	尾 茉伽	憂
	事業区分	● 1 ソフト事			3 経常的事務				金·負担金			業運営	方法		直営			全部委詞	迁
	争未区力	○ 2 ハード事			4 施設の維持		0 6	5 内部管	管理事務		他	木廷古			一部委託		4	補助等	
		基本構想(政策				波			実施計	画					業の開始・				
	総合計画	基本計画(施策							1 該当		令		年	~ 1	令和	年	<u>√</u> 期[間設定な	il
		主要施策	(2)	人権教育	・啓発の推進				2 非該当	当	根	拠法	令等						
		対象(誰を、 何を)	民及び	に市内に	勤務する企業職	戦域社	Ę												
	事業の 対象・目的	目的(どうい 量う状態にし	是終的	様々な差	別意識を無くし	ます。													
PL		: "	今年度	様々な人	権問題について	て、より	深く学習	•交流す	る場を提	供し、	人権意識	の高揚	を図りま	ぎす。					
AN		具体的にどの。	ような活	動を行し	ヘますか。(主フ	なもの	5つまで	•											
N		① 市内全域に	おいて	、人権講座	፩「心のリフォー	ム学級	」を開催	し、市民	:の差別意	識を無	乗くすよう 、	、人権	問題を学	びます	0				
	事業の	② 人権フェスラ																	
	活動内容	③ 阿波市児童																	
		④ 吉野川安定	所管内	人権啓発	企業連絡会に	おける1	企業・職均	域を対象	に研修会	を開催	崖する。								
		5																	
		指標名			に指標設定理		単位		令和	3 4		令:	和 4		_	5 4			目標
	数値目標 (事業の目的	人権講座 「心のリフォーム			ど人会・教職員 啓発します。	な		目標 実績			8 4				8 6			8	8
	及び活動内 容の達成度	企業職域人権研修会	AK		参加する企業類 図ります。	数	数	目標 実績			4 0				0			4	5
	を測る指標)							目標											
								実績											
	予算費目	会計		一般				10 教育			項	5 社	上会教育		目	2 .	人権教	育費	
				和 3			令和	4	年度決		令和	5	年月	度予算			備考		
		国庫支出:				千円				千円				千日	_				
			金			千円				千円				千円					
	直接事業費		債			千円				千円				千円					
00		その他特定財				千円			0.110	千円				千F					
U			源		6,729				6,116					72 + F					
		計(A) 正職員工数·経	弗 0.4	250 人	6,729 1,522		0.250	ı	6,116 1,511		0.250	1		<mark>72</mark> 千月 15 千月					
	人件費(B)	上 城 貝 上 致 · 栓 : 会計年度任用職員職		250 人	1,022	一一	0.200	^	1,011	十円	0.230	人	1,3	10 +1	7				
	八八貝(ロ)	会計年度任用職員工数・総		人	n	千円		.	n	千円		人		0 ∓F	9				
	全休事	業費(A+B)	- 1		8,251			^	7,627			/\	7 4	87 + F					

					ツク項目				一次	マ評価		_	·次評価の	説明		二次	評価	
		1.				が確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	大	きい	が強く残っ	ている現実	の差別意識 があり、各種		少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	F度以降実施	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	● あ	る	研修会など を推進しな	ごを設けて正 こければなり	しい人権教育 ません。明る		ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向	上のために、	現在の手段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	な	い	いまちづく	りのためにネ	きえると、行政 推進する必要		ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサービ			自治体と比較し	_ン てニーズを	0	いる	● い	ない	があります		推進りる必要	-	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容が	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	● い	える			め、継続的・ 這し、様々な		いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ネリ化など、カ	施策への貢献 原	度が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	● い	える	学習機会	を提供する	ことが必要	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で類	頁似・重複し	た事務事業が存	存在する。	0	する	● U7	ない	です。			0	する	•	しない
KOHEO		4.	事業の継続を	しても成果の	つ向上が期待	できない。		0	できない	● で	きる				0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣ってい	ると思う。		0	目標に比	べて劣って	いる		容(時間・	易所・研修密		目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上がっ	ていないと思う	5 。	0 :	あまり上か	べっていなし	١	反/で作品	ましなから1	10.43°	0	あまり上が	っていた	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成して	いると思う。		O ;	概ね達成	している					0	概ね達成	している	3
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成し	ていると思う。		0	十分達成	えしている					•	十分達成	している	ప
		1.	効果に比べて	コストが高し	١,			0	高い	適	当			里解していた 会への講師	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウヤ	か新たな制度	を活用できる。		0	できる	● で	きない	及び教材	が必要です	r。知名度σ		できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手段	等を見直す余均	也がある。	0	ある	な	い			ある講師を が高くなるた	. 0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	よどによりコ	スト削減の余地	也がある。	0	ある	な	い	め、検討	が必要です	0	0	ある	•	ない
					一次	評価							二》	マ評価				
	評値	西点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	ļ	必要性	1	対性	達成度			総	合評·	価
	<u></u>	を の	4 ○ 拡大·充乳	4 実 ┃	3 :維持 <i>(</i>	_ 4 〕方法改善	A O 民間委i	1生	0		<u> </u>	4 		<u>4</u> ○ 方法改				华
		句性		○ 統合/終			〇 民间安日	<u> </u>	$ \overset{\circ}{\circ}$	縮小		統合/終		○ 房止/位	-	O KIE	J 安 向 l	, 1
C										11111				及び一次記		の相違点	į	
ACT-O		面の	り参加者数が固	国定化になり派	咸少している。	・役員の方へ送ぐ と見られます。多 日れるよう取り組む	くの市民対象の)研修	会 多く					連携や研修		充実に努	め、	
N	と 計	·画	市民にとって気より連携強化し	軽に参加でき 、人権意識 <i>の</i>	る講座をして)向上に努め	Cいく必要がある ます。	と考えます。推	進体制	引を	を意識の	向上に	向けた取	り組みを引	き続き進める	ます。 			
		員会 i事項																

	No. 34 —	4 基本事務事業	業名 人格	重教育推進	^進 協議会事務	事	務事業	名人格	重教育推进	隹協誵	議会事務	5	公的関与	7	シート	·作成日	令和	5年6	月5日	
	部局名	教	育委員:		課名		会教育		主務認			板	東毅		シート	作成者名		村尾	茉優	1
	事業区分	1 ソフト事	業		3 経常的事程				金∙負担金			李 :雷	営方法	I	1 直営				邹委託	
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		6	内部管	管理事務	その	他	未選	苦刀広		2 一部			4 補	功等	
		基本構想(政策]波			実施計	画				틕		開始·終 ^一				
	総合計画	基本計画(施策	<mark>策)</mark> (1)		社会の確立			O	1 該当			·和	年	~	令和	年	j	期間記	役定なし	<u>ر</u>
		主要施策	(1)	人権教育	・啓発推進体	制の整	と備	0	2 非該当	4	村	見拠決	去令等							
		対象(誰を、 何を)	市内の各	団体と連携	隽強化し、調査	研究∙資	資料の収	集及び	配布∙研究	会∙講	據会∙請	習会	などの開	催及し	が参加 (
	事業の 対象・目的	目的(どうい)	最終的	市内のあ	らゆる差別の揺	散廃を目	指します	- 0												
PL			今年度	人権教育	の正しい理解。	と実践に	ついて	开究協議	美し、その 扌	隹進を	図ります									
AN		具体的にどの																		
N		① 吉野川安原							します。											
	事業の	② 各種人権問																		
	活動内容	③ 市内で人格	をフェスラ	ティバルを	開催し、人権意	識の高	揚を図り	ます。												
		4																		
		5																		
		指標名			は指標設定理		単位	- I=	令和	3 -			令和 4	年度		令和 5	年度		最終目	
	数値目標	市職員・教職員の名	各種研修	県内外の し、研修し	研究大会に参	加		目標 実績			5				5 4			5	5	
	ダに 日保 (事業の目的 及び活動内	,, <u>,</u>						<u>夫棋</u> 目標			3				4			1		1
	容の達成度	人権フェスティバル			とした人権啓発を対 を開催します。	对家		実績			1				1					
	を測る指標)							目標												
								実績										_		_
	予算費目	会 計		一般	会計		款 1	0 教職	战費		項	5	社会教育	費		目 2	人権	教育	費	
			令	·和 3	年度決	算	令和	4	年度決	算	令和	ļ	5 年	度予算	算		備:	考		
		国庫支出				千円				千円						和4年度				
			金			千円				千円				=	千円ス原	蒸染症の	影響(ひため	、少人	、数
	直接事業費		債			千円				千円				=	_{千円} 参り	加・リモー	-卜研修	ぎで行	った。	
D	巨汉于不负	その他特定財				千円				千円					千円					
0			源		986				974				•	100 -						
		計(A)			986				974	_				100 =						
	L //L === / _ >	正職員工数·経		250 人	1,522	千円(D.250 人		1,511	千円	0.250	人	1,	<mark>515</mark> -	千円					
	人件費(B)	会計年度任用職員耶						_												
	۸ / ۱ + ۱	会計年度任用職員工数・	·経費	人		千円				千円		人		0 =						
	■ 全体事業	業費(A+B)			2,508	千円			2,485	千円			3,	<mark>615</mark> =	千円					

					チェ	ック項目					_	·次評·	価		_	-次評価(の説日	月		二次	評価	fi .
		1.			ても、公平	性・公正		が確保できる等		0	少なし		大き	ر)	市民の様	々な人権	に対っ	する意識	0	少ない		・ 大きい
	必	2.						<u> </u>		0	ない	<u> </u>	ある		中心となっ	ついてなって進める			0	ない	<u> </u>	 ある
	要性							法等の改善の余		_	ある		ない		ます。				0			ない
	II		住民ニーズの	の低下	「がみられ	たり、近		治体と比較し		0	いる		いなり	L)					0	いる	<u> </u>	いない
			上回るサート	ごスと	なってし	い る。							, , ,									V 10.0
		1.	施策の目的を	実現す	るために	、事業内容	₹が必	がずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	い	いえる	る 	市民の意続した事	識改革に 業実施の			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ	化など、旅	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い) いえる	3	す。				0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策	きの中で類	類似・重複	更した	と事務事業が存	在する。	0	する	•	しなし	۱۱.					0	する	•	しない
KOHHCX		4.	事業の継続る	をして	も成果 σ	向上が期	得て	ごきない 。		0	できな	い (できる	3					0	できない	•	できる
C		1.	目標設定に対	対して	進捗状況	アが劣って	いる	ると思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	る	町単位で				0	目標に比	べて劣	っている
•	達	2.	目標設定に対	対して	成果があ	ちまり上か	「って	こいないと思う	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0	あまり.	上がって	いない			内全域で(する必要			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	ー 対して	概ね目標	悪を達成し	てし	 \ると思う。		<u> </u>	概ね遺	成して	いる		•				0	概ね達成	してい	<u>る</u>
	/2	4.	目標設定に対	 対して	十分に目	標を達成	えして	こいると思う。		0		<u>-バー・</u> を成して							•	十分達成	してい	る
		1	効果に比べて	7 7 7	とが立し	١				0	高い) 適当	<u> </u>	市民の意	識改革な	ので、	関わり		高い		適当
	効					-	FE #	<u></u>			できる	-)できた			道に行っ			_	できる		<u></u> 一 できない
	率								184 7	_		<u>_</u>			めりまり。							
	性							手を見直す余地		0	ある 		ない)	ある 		ない
		4.	電子化や契約	的方法	もの変更な			スト削減の余地	がある。	\circ	ある	•	ない						0	ある	•	ない
			心無性	1 -	└ ☆ ↓ ⋼↓		次評	•	₩Λ∋π	; / II		. N . #	- h4L		└ ⊹₊ ۥ⊬		次評	• •	<u>и</u> Г	4/3	ᄉᇷ	; / ==
	評值	西点	必要性	1	与効性 4	達成原		効率性 4	総合評	· 1 Ш		必要		1	<mark>j効性</mark> 4	達成/ 4	艾		生	花	合評 A	·1Ш
	今往	後の	○ 拡大・充				0	方法改善	〇 民間委認	毛等	(<u>·</u>)拡	大・充	実	•	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u> </u>	方法改善	Ė.	○ 民間		无等 无等
Α	方回	句性	○ 縮小	0	統合/終	期設定	0	廃止/休止				〇 縮	•	0	統合/終			廃止/休				
C														二次	評価での	指摘事项	頁及て	バー次評	価との	の相違点	į	
Ţ								られ、若年層の)参加は、少な	い状況	況で											
ACT-O	詸	題	あるため講師	選ひ	• 研修闪名	が一種語が	\	そです。				, 14 m		\ 1#-	+	18 a — ± 1		4 I - +v	1 24 1 — 4 0			
N	⊐ <i>h</i> -1	革案	1 15 7/L 75 14 V	4 1 7 1 2 4	*への切り	1 >= 1# 34	//	41171H	1 + + + + +						や広報なる 協議検討				増に多	きめるとと	もに	•
		-						、参加者を増や				- W. 1.	<u>-10</u>			0.673 .51	<u> </u>	~ / 0				
		画.	発に努めます			, , , , , ,	- 1 43 44	~ / U·GC <u>- /</u> /		, , 0	,											
		員会_																				
	指摘	事項																				

	No. 34 —	5 基本事務事	業名 学力	向上活	 動	事務事	業名	力向上活動	b b		公的関与	4 シ	·一卜作成日	令和5年	6月5日
	部局名		育委員:		課名	社会教		主務認			板東 毅	シ-			彰
	**51	○ 1 ソフト事		0	3 経常的事務事	業	5 補助	金・負担金	⁺支援	+ 414	TT 144 14 14	√ 1 ₫	堂	✓ 3 全	部委託
	事業区分	0 2 N-F	事業	Ō	4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務	その化	世 事業:	運営方法	2 -	-部委託	✓ 4 補	助等
		基本構想(政	策) 6.	共に生き	、共につくる阿波			実施計	画				美の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	策)(1)	人権尊	重社会の確立		(1 該当		令和	年			☑期間	設定なし
		主要施策	(2)	人権教育	育・啓発の推進			2 非該当	á	根拠	l法令等				
		対象(誰を、 何を)	八幡小学	·校·柿原	小学校・一条小学校	交•吉野中′	学校の児	見童生徒∙受	講生保	護者対象					
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	人権教育 ます。	育を中心に捉えた教	育活動の	中で、人	権尊重の精	神を育	成し、基礎	学力の定 続	事や子ども	会活動による過	連帯感を割	をうよう支援し
P		たいのか)			動に講師・指導員が			にあたり連帯	きを養い	います。					
A					いますか。(主なも										
N					乍成した教材)を用し)			
	事業の				通して友達との交流		_								
	活動内容	•			ます。保護者会で、学				、情報交	を換をしてい	ます。(吉野	地区•八幡	地区において保	護者会を閉	開催している。)
		0 11 1	生徒向け	の講演会	会を開催し、人権学	習したり見	学をして	います。							
		5				T 337.71		1 4			A ==				
		指標名	<u> </u>	_	又は指標設定理由		I		3 年		令和 4			年度	最終目標
	数値目標	学力向上活動(指	導)	小学生・ 催します	中学生対象とし、開 -		目標 実績			50 50		50 50		50	50
	(事業の目的 及び活動内			催しより	0	<u> </u>	天 目標			15		15		15	15
	容の達成度	人権学習		毎月1回]開催します。	□	実績			2		13		10	10
	を測る指標)					1	目標								
							実績								
	予算費目	会 計		一般	设会計	款				項 5	社会教育	育費	目 2	人権教育	費
			一	和	3 年度決算	令和	4	年度決	算	令和	5 年	度予算		備考	
		国庫支出	金		千円	ı			千円				令和4年度は		
		県 支 出	金		千円	1			千円				ス感染症の影		
	直接事業費	地 方	債		千円				千円			千円	加者を少人数	で実施し	<i>」た。</i>
D	但该事本貝	その他特定則			千円	l			千円			千円			
0		一 般 財	源		432 fr			477				650 千円			
		計(A)			432 千円				千円			<mark>650</mark> 千円	1		
	I 101 = ++- 1 = 1	正職員工数·絲		200 人	1,218 千円	0.200	人	1,208	千円	0.200 人	. 1,	<mark>212</mark> 千円	1		
	人件費(B)	会計年度任用職員													
	A 11 =1-	会計年度任用職員工数	· 経費	人	0 千円		人		千円	人		0 千円	1		
	全体事	業費(A+B)			1,650 千円			1,685	千円		1,	<mark>862</mark> 千円			

						ック項目					一岁	マ評価		_	·次評価の	D説明			二次	評価	i
		1.						確保できる等 響は大きくな		0	少ない	大	きい	学力向上 の要望が	ある限り行	テ政が携	わり	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	ある	3	継続してい	ハく必要か	あります	0	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の同	向上のため	に、明	見在の手段	と、方	法等の改善の名	戻地がある。	0	ある	ない	,1					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサーヒ				隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0	いる	● いた	いに					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を顕	実現するた	めに、	事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	● いえ	きる	指導員3% に指導し				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化な。	ど、施	策への貢献	献度か	「著しく高いと	まいえない 。	0	いえない	● いえ	t a	は、仲間と	ヒ共に勉強	ѝ∙経験を	する	0	いえない	•	いえる
CH	性	3.	市が実施する	る施策の中	で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	○ した	il1	ことで家庭 くりの場と				0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	としても成	(果の	向上が期	待で	きない。		0	できない	● でき	き る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗	步状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に比	べて劣って	いる	学習会場 経つと打ち				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果	見があ	まり上が	うて	いないと思う	0	0	あまり上が	がっていない		係が築け	ています。	今後も終	迷続	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね	目標	を達成し	てい	ると思う。		•	概ね達成	えしている		しながら打 ます。	旨導してい	く必要が	あり	0	概ね達成	してい	ర
		4.	目標設定に対	付して十分	目ごん	標を達成	して	いると思う。		0	十分達成							•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコストカ	高い	0				0	高い	● 適	当	学力の向は、積み				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウバ	ハウや	新たな制	度を	·活用できる。		0	できる	● でき	きない	す。今後も	・手段を選	びながら		0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	≤成果の関	係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	なし	,1	続していく	必要があ	ります。		0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変	変更な	どにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	ない	,1					0	ある	•	ない
		•				—;	次評							•	=	次評価	·				
	評値	五点	必要性	有効性	生	達成原	复	効率性	総合評	価		必要性	7	有効性	達成原	き 3	<u> </u>	±	総	合評	価
	全名	を の	4 ○ 拡大・充	<u> 4</u> 宝 ●	 現状	3 維持	$\overline{}$	4 方法改善	A ○ 民間委記	千筀	0	4 拡大∙タ	宝	4 ┃● 現状	4 · 維持		<u>4</u> 去改善	Ė		_ <u>A</u>]委記	£等
Λ		う性	○ 縮小			胡設定		廃止/休止	<u> </u>	<u> </u>	-		ÎÒ	統合/終			<u> </u>		<u> </u>		<u>.,</u>
AC			<u> </u>					,,						評価での					の相違点	į	
TIO	当課	題	学力向上支援	爰活動では	、受請	持生減少 條	頂向と	こいった課題が	あります。					していくこと						5用を	・ 把握し
N	改革と写		引き続き、事 ようにします。		迷続し、	保護者と	上の関	わりを密にし、	人権をより深	 〈学べ	る	がら、参加	が進す	むよう工夫	を凝らし、	目標達成	だに努っ	めます	;		
		会 事項																			

	No. 34 —	6 基本事務事業	業名 教育	集会所管	管理運営事業	事務	事業名	教育集会所	管理週	営事業	公的関-	5 4 シ	一卜作成日	令和5年	6月5日
	部局名	教	育委員:	슾	課名	社会	教育課	主務	課長名	i	板東 毅	シー	ト作成者名	村	尾 茉優
	事業区分	1 ソフト事			3 経常的事務			助金·負担		4 4	美運営方法		営		è部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		〇 6 内]部管理事務		他	建名力丛		-部委託	□ 4 ₹	甫助等
					共につくる阿	波		実施訂	画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施領						● 1 該当		令和		~ 令	和 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(2)	人権教育	・啓発の推進			○ 2 非該	当	根	処法令等				
		対象(誰を、 何を)	市民対象	とし、多く	の学習機会の場	景(いつでも	も・誰でも	気軽に参加で	きる学	習の場)と	こして阿波市	う内にありま	す。		
	事業の 対象・目的	目的(どうい)	最終的	教育集会	所の老朽化が近	進んでいる	ため、耐	用年数を経過	過してい	る集会所	から閉館・角	解体します。			
PL		たいのか)			のカギは、吉野			事務局内に保	管してし	ハます。(1	貸出簿を使	用)			
AN		具体的にどの													
N					野中学校が管理										
	事業の	② 市場1館・													
	活動内容	,			「教育集会所」					き所としては	也元住民に	仕使用され	ています。		
			発止し、鉤	世世は、	吉野スポーツセ	ンター事績	務局内に	保管していま	9 。						
		5		= //ct =			_	I A 7-		I	A 7-	<i>F</i>	A 10 -	<i></i>	
		指標名			ては指標設定理				3 4	中度	令和 4	牛皮	令和 5	牛皮	最終目標
	数値目標	使用回数		数1世日付	票の設定が難し								_		
	(事業の目的 及び活動内			0.											
	容の達成度						実								
	を測る指標)							標							
							実								
	予算費目	会計		一般	会計			教育費		項	5 社会教	育費	目 2	人権教	育費
			令	和 3	年度決算	算 令和	<u> </u>	4 年度》	上算	令和	5 4	丰度予算		備考	
		国庫支出	金		7	f円			千円			千円			
		県 支 出	金		7	戶円			千円			千円			
	直接事業費	地 方	債		٦	f円			千円			千円			
D	但以于不良	その他特定財				戶円			千円			千円			
0			源		1,523 ∃			1,163				980 千円			
		計(A)			1,523			1,163				980 千円			
	L 1/L = +- / = >	正職員工数·紹		200 人	1,218 ₌	F円 0.20	00 人	1,208	千円	0.200	٨	<mark>1,212</mark> 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員軍													
	A /L = 1	会計年度任用職員工数・	·経費	人	0 =		人		千円		<u>ا</u>	0 千円			
	全体 4	業費(A+B)			2,741 =	F円		2,371	千円			<mark>2,192</mark> 千円			

					チェ	ック項目					_	欠評価		_	·次評価の	の説明			二次	:評価	
								確保できる等響は大きくな		•	少ない	O #	けきい	過去に子 時代があ				•	少ない		大きい
	必	2.	厳しい財政物	犬況の	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	•	ない	○ <i>t</i> .	53	施設であ	り、教育集	そ 会所と	しての	•	ない	0	ある
	要性	3.	住民満足度の「	句上の	ために、	現在の手段	と、方	法等の改善の統	戻地がある。	•	ある	(ta	īl\	役目は終 す。	えているの	ころえら	がま	•	ある	0	ない
			住民ニーズの 上回るサー b				隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	•	いる) i	ない				•	•	いる	0	いない
		1.	施策の目的を	実現す	るために.	、事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	•	いえなし	, O 1.	ヽえる	西姥御前 教育集会				•	いえない	0	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリイ	比など、旅	画策への貢i	献度か	ぎょく高いと	よいえない 。	•	いえなし	, O 1.	ヽえる	ます。その	の他の教育	育集会 F	折は、	•	いえない	0	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策	の中で類	類似・重複	した	事務事業が存	在する。	•	する	O 1	ない	使用回数 す。	は低いと	考えられ	れま	•	する	0	しない
HE		4.	事業の継続を	をして	も成果の	向上が期	待で	きない。		•	できなし	٠					•	•	できない	0	できる
CK		1.	目標設定に対	対して	進捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて劣って	ている	西井ノ元教育センタ				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して	成果があ	まり上か	うて	いないと思う	0	0	あまり上	がっていない	い	いるが他の	の教育集	会所使		0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して	概ね目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	 或している		ほとんども	ありません	/ o		0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	対して	十分に目	標を達成	えして	いると思う。		•	十分達	成している					•	•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコス	トが高い	١,				0	高い	● 道	鱼当	教育集会んど終える				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノ	ウハウギ	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	⊙ 7	きない	一ルと小さん	にとかんら	71649	0	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	と成果	の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	ヹゕ゙゙ある。	•	ある	○ <i>t</i> a	īl\				•	•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	內方法	の変更な	こどにより	コス	ト削減の余地	ヹゕ゙゙ある。	0	ある	● ta	il\	1				0	ある	•	ない
						_	次評	価							=	次評価	<u> </u>				
	評价	西点	必要性	有	前効性	達成原	茰	効率性	総合評	価		必要性	7	有効性	達成原	茰	効率性	ŧ	総	合評	価
			1	<u> </u>	1	4 		<u>3</u> 方法改善	C ○ 民間委i	イ <i>吐</i>		1	大中	1 ┃ ● 現状	4 ≥ <i>4#</i> +±		<u>3</u> ī法改善	<u>-</u>		<u>C</u> 引委記	r ///
		後の 句性	○ 拡大・充		● 現状 統合/終			万法以普 廃止/休止	〇 民間委託	【寸			兀夫	統合/終			医止/休.		○ 民間	リ安市	(守
A	731	-) I.T.	○ MIE(1)	<u> </u>	小儿 ロ / 小ミ	对政化		元 亚/				\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \		評価での					の相違点	į	
H-0								ため利用者も 後の課題であり		す。除	公		別管理	里計画計画	に基づき						をし、今
N	改革と実計		引き続き、民間 解体していく』				へので	あれば、利用料	犬況・老朽化等	を精	後 査し	の方針に	こついて	検討します	o						
		員会 i事項																			

	No. 34 —	7 基本事務事	業名	王学習(各	種講座等)事業	\$ 事務事	事業名 🔄	主涯学習(各	·種講	座等)事	業	公的関与 8	シー	−ト作成日	令和5 年	F6月8日
	部局名	教	育委員	会	課名	社会教	教育課	主務調	果長名	7	板	東毅	シー	ト作成者	名 前	田 拓朗
	事業区分	○ 1 ソフト	事業	0	3 経常的事務	事業() 5補,	助金·負担金	<u>⋛</u> •支	援 声:	举 :雷克	堂方法 🖳	1直	営	3 3	全部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業		4 施設の維持	管理()6内 i	部管理事務	・その	他	未建。	5万压	2 —	部委託	☐ 4 i	補助等
		基本構想(政						実施計	画					ρ開始・総	冬了	
	総合計画	基本計画(施		生涯学習	の充実			● 1 該当		令		年 ~	令和	П	年 🗵 期間	引設定なし
		主要施策	(3)	特色ある生	生涯学習プログラ	ラムの整備	∮•提供	○ 2 非該旨	当	根	拠法	令等				
		対象(誰を、 何を)	市民													
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	地域資源	と人材を最大限	に活用しな	いがら、各	年代にふされ	っしい!	魅力的で	多様な	は学習講座を	提供し	ます。		
PL		たいのか)	, , , , , ,		と人材を最大限			年代にふされ	っしい!	魅力的で	多様な	は学習講座を	提供し	ます。		
AN					ゝますか。(主な											
N		•			せて募集チラシを			受講生を募り	€し、言	構座を開作	崔して	います。				
	事業の	0			どして講師を確保											
	活動内容)			て、市民ニーズを						ていま	す。				
)	加できる	講座や外国	国語講座など、多	種多様な	講座とな	るよう企画し ⁻	ていま	す。						
		5														
		指標名	3	計算式又	(は指標設定理	由単位		令和	3		台	命和 4 年月		令和	5 年度	最終目標
	数値目標	講座受講者数		市民二一	ズの指標として	人	目標			1704			1591		1591	1591
	(事業の目的						実統			1145			1296			2000
	及び活動内 容の達成度	その他(講座以外)来場者数	市民二一	ズの指標として	人	目標			1500			200		2000	2000
	春の建成度 を測る指標)						実約			154			932			
							目標 実統									
	予算費目	会 計		负几	会計			^具		項	5 l	社会教育費			1 社会数	育総務費
	了开貝口	云 미	4	î和 3				女月貝 年度決	└笛 ┃	令和	5 5		6 首		備考	日心仍具
		国庫支出		774 0		·円	т т	一一大人	千円	אף נו	- 0	一大汉	千円		ım. ⊃	
		県支出	金			円			千円				千円			
		地方	債			円			千円				千円			
D	直接事業費	その他特定則				円			千円				千円			
0		一般財	源		1,114 ∓	円		1,706	千円			1,737				
		計(A)			1,114 千	円		1,706	千円			1,737	千円			
		正職員工数·糺	経費 0	.500 人	3,044 ∓		0 人		千円	0.500	人	3,030				
	人件費(B)	会計年度任用職員	職種													
		会計年度任用職員工数	牧·経費	人	0 Ŧ	円	人	0	千円		人	0	千円			
	全体事	業費(A+B)			4,158 千	円		4,727	千円			4,767	千円			

					こック項目						_	次評価	西		_	-次評価(の説	明		二次	評価	б
		1.		なくても、公 ^ュ 事業を廃止					の実施	0	少ない	•	大き	il)	ニーズは	習講座に対 に高く、市民	の自	発的な	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	丰度以降実	施す	る緊急性が認	恩めら	れない。	0	ない	•	ある		学びのき である。	っかけづく	くりとし	て重要	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の「	向上のために、	現在の手段	、方	法等の改善の急	余地が	ぶある 。	•	ある	0	ない	١	උනනං				0	ある	•	ない
		4.		の低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	ノて <i>=</i>	ニーズを	0	いる	•	いな	:١١					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえ	ない。	0	いえな	γ	いえ	.る		ニーズや講			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	シネリ化など、カ	施策への貢献	ば度だ	が著しく高いと	はいえ	えない。	0	いえな	γ	いえ	.a		催している		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	0	いえない	0	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で舞	領似・重複	した	事務事業が存	存在す	⁻ る。	0	する	•	しな	い					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	をしても成果の	の向上が期	待で	ぎきない。			0	できな	ν Θ	でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。			0	目標に	比べて貧	劣ってし	る		≧員に達し すが、ほと			0	目標に比	べて劣	つている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	5 。		0	あまり」	こがってし	いない			ゅんいはこ E成できてし			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てじ	ると思う。			<u> </u>	概ね達	成してし	いる						0	概ね達成	してい	る
	^	4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成	して	いると思う。				十分達				1				•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	,۱۰					0	高い	0	適当	¥		えながら、			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	や新たな制	度を	活用できる。			•	できる	0	でき	ない	はていま	らえるよう す。	よ講片	坐を企画	0	できる	•	できない
	率件	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	しがあ	5る。	0	ある	0	ない	١					0	ある	•	ない
	-	4.	電子化や契約	ウェニュー かった	などにより	コス	ト削減の余地	しがあ	5る。	0	ある	0	ない	١					0	ある	•	ない
					— <u>></u>	欠評	·価				T					=	次評	価				
	評化	西点	必要性	有効性	達成度	Ę	効率性		総合評	価		必要	·性	1	有効性	達成	芰	効率性	生	総	合評	価
		を の	3 ○ 拡大·充	<u> 4</u> E実 ● 現料	3 	0	3 方法改善	0	A 民間委託	华		<u>4</u>)拡	大・充	<u> </u>	4 ┃ <mark>●</mark> 現∜	<u> </u>		4 方法改善	É	○ 民間	A ほ	千生
		句性	○ 縮小				廃止/休止		以间安市	<u> </u>) 縮/			統合/終			廃止/休		O KIE	又可	L #
C) 1/11	O 4,0 E / 4,4	77711272		<i>7</i> 0— / 11					J 1114	-)指摘事具				の相違点	į	
ACTIO		面の !題	新規受講者が	が少なく、20歳ゟ	から40歳代の	の男	性の受講率が	低い	のが課題	です。	幅					≧となれる 。			受講者	番の増加が	バすっ	 すむよう、
N	と된	革案 実行 ·画	受講者のニー 際に活用する します。	-ズを把握する ら。また、情報収	ため、アンク な集して若し	ケート	トを実施し、次年 大に興味を持っ	年度(っても	 の講座を1 らえる講座	上画す を企	رم. ا	ンケー	-トなと	ごを参	考に、講	座の企画に	こ努め	かます。				
		員会 i事項																				

	No. 34 —	8 基本事務事	業名 青り	レ年健全育	ī成市民会議 事	業事	務事業名	青少年儗	全育成市	「民会 詞	義事業	公的関与	8	シート作	成日	令和5	年6月5日
	部局名	教	枚育委員	会	課名	社:	会教育課	É	務課長	名	板	東毅	111	ノート作月	社 者名		村尾 茉優
	事業区分	① 1 ソフト?			3 経常的事務			助金∙負			車業浬	営方法		直営			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード	, ,,,		4 施設の維持	寺管理	○ 6 p	內部管理	₿務・その	D他	尹未選	呂刀広		一部委詢		√ 4	補助等
		基本構想(政							施計画					業の開始	à·終了	•	
	総合計画	基本計画(施						● 1 謬			令和	年	~	令和	年	✓期	間設定なし
		主要施策	(1)	健全育成	は体制の充実			〇 2 非	該当		根拠沿	去 令等					
		対象(誰を、 何を)	市内の青	予少年													
	X/1 3X - 11 11/1	目的(どうい う状態にし	最終的	時代を担	う青少年の健全	全育成· 非	 上行防止等	を図る事	を目的とし	ていま	す。						
PL		たいのか)	今年度	青少年健	全育成市民会	議総会0	り決議に基	づき、学校	泛補助事 第	ἔ∙講演	会事業	・体験事業	≹∙啓発	事業を実力	施します	- 0	
AN					ヽ ますか。(主:												
N)	全育成0)啓発活動	や、自然体験記	構座の実	施をはじぬ	とする青	少年の健	全育成	に向けた	た各種の₹	事業を行	かます。			
	事業の	2															
	活動内容	3															
		4															
		5	_	1 - 1		m ''						A == .			-		
		指標名	<u> </u>	計算式又	ては指標設定理	里由 耳	单位 -		う和 3	年度	-	令和 4	年度	令7	和 5	年度	最終目標
	数値目標			事業が多	岐にわたるため	め		標									
	(事業の目的							!績 ·無									
	及び活動内 容の達成度							標 !績									
	を測る指標)							:頑 標									
								" !績									
	予算費目	会 計		—般	会計			教育費		I	頁 5	社会教育		F	1	社会拳	数育総務費
			수	î和 3		算 全			度決算	令和			度予算			備考	
		国庫支出		•••		千円			千円					円		11.0	
		県 支 出	金			千円			千円				千	円			
	直接事業費	地 方	債			千円			千円				Ŧ	円			
D	但按争未复	その他特定則	 財源			千円			千円				Ŧ	円			
0		一 般 財	源		1,146	千円		1,3	841 千円			1,	300 ∓	円			
		計(A)			1,146			1,	<mark>841</mark> 千円			1,	<mark>300</mark> ∓	円			
		正職員工数·		250 人	1,522	千円 0	.250 人	1,	5 <mark>11</mark> 千円	0.25	0 人	1,	<mark>515</mark> 千	円			
	人件費(B)	会計年度任用職員															
		会計年度任用職員工数	数·経費	人		千円	人		0 千円		人		<mark>0</mark> ∓				
	ムル古き	業費(A+B)			2,668	千田		2 9	352 千円			2	<mark>815</mark> 千	щI			

					ック項目					— ;	欠評値	Б	-	-次評価の	の説り	月		二次	評価	
		1.	市が実施しなき主体があり、						0	少ない	•	大きい	性 全育原	り次世代を なにとって必			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況	況の中、次年	F度以降実施	をする緊?	急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある	す。				0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向.	上のために、	現在の手段、	方法等σ	の改善の糸	戻地がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの仕上回るサービス			葬自治体	と比較し	,てニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容が	が必ずしも	も適切とは	はいえない。	0	いえない	,	いえる		中学校にお			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマンネ	ネリ化など、カ	施策への貢献	度が著し	く高いと	まいえない 。	0	いえない	,	いえる		ています。	O, C .	17X T X	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施するが	施策の中で数	頁似・重複!	した事務	事業が存	在する。	0	する	0	しない					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期行	寺できな	い。		0	できない	,	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣ってし	いると思	う。		0	目標によ	比べて針	らっている	概ね達成	戈出来てい	ます。		0	目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上がっ	っていな	いと思う	0	0	あまり上	がってし	ない					0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成して	ていると	思う。		0	概ね達用	或してに	·る					0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成し	している	と思う。		•	十分達	成してい	いる					•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて:	コストが高い	N _o				0	高い	0	適当		ノターを中心 中学校等、「			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体の	のノウハウャ	か新たな制度	度を活用	できる。		0	できる	•	できない	携を取り	ながら社会	读環境	に対応	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手具	没等を見	直す余地	oがある。	0	ある	•	ない	した事業	を行ってい	きまで	す。	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどにより:	コスト削	減の余地	ヹがある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
					一次	マ評価								=	次評	価				
	評化	西点	必要性	有効性	達成度	効	率性	総合評	′価		必要	性	有効性	達成原	吏	効率性	生	総	合評	価
	全征	を の		4 実 ┃	<u> 4</u> 犬維持	 〇 方法	<u>4</u> 改盖	A ○ 民間委詞	千笙	C	4) 拡っ	 大·充実	4 ● 現	<u> </u>		<u>4</u> 方法改割	Ė	○ 民間	A 【委託	千生
Λ		句性		統合/終		_	· /休止	O MINST	-							<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
C			· ·	<u> </u>		<u> </u>						_	欠評価での					の相違点	į	
ACTIO			多重多様な犯り を展開していけ			建全育成	を図るた	めにいかに有:	効な事	関			しながら、=	一ズに応し	じた事	業内容を	:検討	し、講演	等の耳	回り組み
N	وع	革案 実行 画	引き続き、関係 続します。	機関と連携し	、ニーズを 「	芯じた事業	業内容を	検討し今後も耳	対組を	も : :継	舌発に	進めます	ተ。 							
		会 事項																		

	No. 34 —	9 基本事務事業	名二十	歳のつと	ごい事務	事系	务事業名		−歳のつ。	どい事	₮務		公的関与 8	シート作成り	3 令和5年	6月8日
	部局名	教育	香員会	È	課名	社会	会教育課	=	主務詞	果長名	3	板		/一ト作成者		田拓朗
	事業区分	● 1 ソフト事業	-		3 経常的事務				金∙負担金			幸温		直営		è部委託
	争未区力	○ 2 ハード事	•		4 施設の維持	管理	06	内部管			他	木廷	✓ 2	一部委託		甫助等
		基本構想(政策		、が輝き	合う阿波				実施計	画				業の開始∙糺		
	総合計画	基本計画(施策						•	1 該当			和		令和	年 2 期間	設定なし
		主要施策						0	2 非該	<u>当</u>	相	视污	卡 令等			
		対象(誰を、 何を)	十歳にた	なる市民を	を市を挙げて祝り	い、多くの	の二十歳	のつと	ごい該当者	首及び	市外に住	民票	を有する式典への	の出席希望者	Í	
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最 う状態にし	終的	二十歳の	つどいを市を挙	げて祝し	、二十点	歳のつ	どい対象	者が原	戊人として	自覚	と責任を認識し、	社会生活を記	営めるようにし	ます。
PL		たいのか) 今						l織し、	式典の企	:画運	営ができる	るよう	協力支援します。			
AN		具体的にどのよ				ょもの5	つまで)									
N		① 二十歳のつ														
	事業の	② 実行委員会			企画運営につい	て協議し	ょす。									
	活動内容	③ 式典に関する	る準備を	します。												
		4														
		5														
		指標名		計算式又	(は指標設定理		.位	- I=	令和	3		4	合和 4 年度		5 年度	最終目標
	数値目標	二十歳のつどい出席:	者数]標			330		33		330	330
	(事業の目的							実績			293		27	3		
	及び活動内 容の達成度							目標 実績								
	を測る指標)							►検 <u>_</u> ∃標								
								ュ <u>に</u> 実績								
	予算費目	会計		— 般	会計	L) 教育	 香春		項	5	社会教育費		1 社会教育	全級務費
	,,,,,,,,,	A #1	令			第 令	·和	4	<u>- 7</u> 年度決	·算	令和				備考	1 4.0-323 5-2
		国庫支出金				千円			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	千円	15 111		于I			
		県支出金			7	千円				千円			千			
	本拉市米弗	地 方 債	責		7	千円				千円			千	4		
D	直接事業費	その他特定財源	亰		7	千円				千円			千	"		
0		一般財源	京		1,024 =	千円			1,608	千円			1,850 ∓।	円		
		計(A)			1,024				1,608	千円			1,850 千I	円		
		正職員工数·経費	貴 0.2	50 人	1,522	千円 0.	250 人		1,511	千円	0.250	人	1,515 千I	円		
	人件費(B)	会計年度任用職員職種	種													
		会計年度任用職員工数·経	費	人	0 =		人			千円		人	0 千l			
	全体事業	業費(A+B)			2,546	千円			3,119	千円			3,365 千Ⅰ	ㅋ		

			チェック項目			_ <u>`</u>	欠評価		_	·次評価 <i>0</i>	説明		二次	:評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。)実施	0	少ない	大	きい	会人への	任を認識す 門出として			○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められ	いない。	0	ない	● あ	る	です。				○ ない	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地があ	5る。	•	ある	な	い					ある	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニー 上回るサービスとなっている。	-ズを	0	いる	• (v	ない					() เงื	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえな	にい。	0	いえない	(O ()	える		会を組織し			○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえた	い。	0	いえない	• (v.	える	施します。		(1)		○ いえない	いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する	5 。	0	する	● U7	ない					○ する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。		0	できない	● で	きる					○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。		0	目標にと	とべて劣って	いる		加すること り自覚を認			○ 目標に比	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。		0	あまり上	がっていなし	١		7日見で記 催は意義:			○ あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。		O	概ね達成	 龙している						◯ 概ね達成	している
	^	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。		0	十分達用	成している						● 十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。		0	高い	適	i当		会を組織し まらないの			○ 高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。		0	できる	⊙ で	きない	がなが果す。	まりないい	が現仏		○ できる	● できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある	5.	0	ある	な	ر،					ある	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある	5.	0	ある	● な	ر،					<u></u>	● ない
			一次評価							二;	欠評価	<u> </u>		
	評値	西点	12 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	総合評	価		必要性	1	与効性	達成原	Ę ź	<u>协率性</u>	総	合評価
	△ ½	を の	3 4 3 4	A 引聞委託	华	O	4 拡大・3	<u> </u> 充宝	4			 去改善		_A 引委託等
		句性		(IPI 安山	<u> </u>		7.1.		統合/終			L/休」		可文化サ
C			O 1111 O 1110 O 1			Ĭ	11111						西との相違点	į
ACT-0		面の 題	例年、実行員会を組織しているが、自主的な立候補者がほとんど 確保するのが課題です。	なく実行	亍委員	今往		運営が	できるよう	支援し、ふ	るさと阿	波市に	二愛着を持てる	るよう努めま
N	と事 計	革案 実行 画	自主的な運営ができる体制を確保するため、周知方法を検討し、 参加を得られるよう努めていきます。	積極的	な自Ξ	主								
		員会 事項												

	No. 34 —	10 基本事務事	業名 芸術	析∙文化振	興事業	事務事	業名芸	術·文化振	興事美	¥	公的関与	2 シ	ート作成日	令和5年	6月5日
	部局名		育委員	会	課名	社会教		主務調			板東 毅		-卜作成者:		尾 茉優
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務]金·負担金			軍営方法		営		è部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理	6 内部	管理事務		也	生 占刀丛		·部委託		甫助等
		基本構想(政						実施計	·画				の開始・終		
	総合計画	基本計画(施		文化芸術			(1 該当		令和		~ 令	和	耳 □期間	設定なし
		主要施策	(1)	文化団体	、指導者の育用	戊		2 非該当	4	根拠	l法令等				
		対象(誰を、 何を)	市民・阿	波市文化協	協会会員										
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的		芸術・文化の振り										
PL		たいのか)	今年度	文化協会	・芸術団体の中心 会員を講師とする	5生涯学習	講座を開	る阿波市文 催します。	化協会	の活動や	市文化祭の	開催を支持	援し、芸術・	文化の振興	を図ります。
AN					ゝ ますか。(主な										
N)			るため、文化協会										
	事業の				キ催事業を実施す										
	活動内容)	加入団体	等の文化	·芸術団体会員を	e講師とする	5生涯学	習講座を開	催するこ	ことにより、	指導者の育	成を図り	<u>ます。</u>		
		4													
		5		- 1 to -		1 22/11		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			A T		A 7-	_ <i>_</i>	
		指標名 文化協会加入団体等		計算式又	(は指標設定理)	由 単位			3 年		令和 4		令和	5 年度	最終目標
	数値目標	術団体会員を講師と	する生涯学	講座数		講座	目標 実績			3		3		4	4
	(事業の目的 及び活動内	習					日標			3		ა			
	容の達成度						実績								
	を測る指標)						目標								
							実績								
	予算費目	会 計		一般	会計	款				項 5	社会教育	子費	目	1 社会教育	育総務費
			슈	î和 3	3 年度決算	令和	4	年度決	算	令和	5 年	度予算		備考	
		国庫支出	金		千	円			千円			千円			
		県 支 出	金		千	円			千円			千円			
	直接事業費	地 方	債		千	円			千円			千円			
D	但]女尹未貝	その他特定則			千				千円			千円			
0		一 般 財	源		1,114 千	_		1,668				700 千円			
		計(A)			1,114 千			1,668				<mark>700</mark> 千円			
		正職員工数·約		100 人	609 千	円 0.100	人	604	千円	0.100 人	(<mark>606</mark> 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員					_								
	A /I	会計年度任用職員工数	牧·経費	人	0 ∓		人		千円	人		0 千円			
	■ 全休里3	業費(A+B)			1,723 ∓	円		2,272	千円		2.3	306 千円			

					チェ、	ック項目					_	·次評·	価		_	-次評価(の説E	旧		二次	: 評価	i i
		1.			、公平	性・公正		、確保できる等 と響は大きくな		0	少なし		 大き	l١	文化団体	や指導者 ・芸術団	育成	のため、	0	少ない		大きい
	必	2.						でる緊急性が認った。。		0	ない	•	ある		活動組織	である文			0	ない	0	ある
	要性	3.	 住民満足度の[句上のため	かに、耳	見在の手段	· · · ·	法等の改善の統	 戻地がある。	0	ある	0	ない		助金は必	要です。			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサート				隣自	治体と比較し	,てニーズを	0	いる	•	いなし	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するが	こめに、	事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	い (いえる	3	文化祭開	催・文化 習講座の			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化な	ど、施	策への貢	献度な	が著しく高いとに	まいえない 。	0	いえな	い 🧿	いえる	3	民の文化	·芸術活	動の流	5性化や	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の	中で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しなし	۸,	指導育成 後も活動	に寄与し 成果が期			0	する	•	しない
E		4.	事業の継続る	をしても	成果の	向上が期	待で	きない。		0	できな	い (できる	3					0	できない	•	できる
CHECK		1.	目標設定に対	対して進	捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	る	市文化協				0	目標に比	べて劣	っている
- *	達	2.	目標設定に対	対して成:	果があ	まり上が	うて	いないと思う	o	0	あまり_	上がって	いない		化・云州) す。	舌動が行え	DYL (いま	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概念	ね目標	を達成し	てい	いると思う。		0	概ね道	成して	<u></u> いる						0	概ね達成	してい	-S
		4.	目標設定に対	対して十分	分に目	標を達成	して	いると思う。		•	十分達	を成して	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	(コスト:	が高い	· o				0	高い	•	適当	i	市からの		活用し	て活動	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウ	ハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できた	ない	しています	9 0			0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の	関係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法の	変更な	どにより	コス	(ト削減の余地	ヹゕ゙゙ある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						—:	次評	価				<u> </u>				Ξ	次評	価				
	証値	西点	必要性	有効	性	達成原	茰	効率性	総合評	価		必要	性	1	可効性	達成	叓	効率性	生	総	合評	·価
			4	4		4		4	Α			4			4	4		4			Α	
		後の	○拡大・充		現状			方法改善	〇 民間委託	毛等			大·充			維持	_	方法改善		〇 民間	一	[等
A	ار	句性	○ 縮小	統	合/終	期設定	\bigcirc	廃止/休止			() 縮	•	<u>O</u>	統合/終		_	廃止/休		0 10 14 1	_	
ACTIO			文化行事の3 化・芸術活動					体性を低下させ ⁻ 。	ることのない。	よう、 〕		⋸体的			評価での となるよう							 t.
N	と事 計	革案 実行 画	引き続き、文 [,] に努めます。	化協会と	の共催	事業を実	施しる	ます。文化の向]上に向け、事	業の	推進	業推	進に努	めま	す。							
		員会 i事項																				

	No. 34 —	11 基本事務事	業名 阿波	サシティマ	ラソン事業	事	務事業名	阿沥	女シティマラン	ノン事業		公的関与	8	シート作成日	令和5年	6月9日
	部局名	孝	女育委員:	会	課名	社:	会教育課	=	主務課長	名	板	東毅	3	ンート作成者名	大厂	为 美咲
	事業区分	① 1 ソフト	事業		3 経常的事務	務事業	O 5	補助金	金·負担金·ɔ	支援	中希温	営方法	<u> 1</u>	直営	□ 3 分	≧部委託
	争未区万	0 2 N-F	事業	0	4 施設の維持	持管理	0 6	内部管	管理事務∙そ	の他	事未 理	呂刀法	_ 2	一部委託	4 新	制等
		基本構想(政	(策) 3	人が輝き	合う阿波				実施計画				事	業の開始・終	7	
	総合計画	基本計画(施	(4)	スポーツ	の振興			•	1 該当		平成	17 年	~	令和 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	幅広いス	ポーツ活動の	の普及促	進	0	2 非該当		根拠沿	去令等				
		対象(誰を、 何を)	市内外の)マラソン愛	受好家											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	マラソンを	・通して健康増	進と世代	:間交流を	兼ね値	構えたスポー <u>ン</u>	ソイベント	として	普及させる	きす 。			
PL		たいのか)	今年度	元オリンピック 実施します。	ク選手や実業団選手を 今年度は、新型コロブ	を招待し、ハ ナウイルス感	ーフマラソン(染症対策を路	まか各部 皆まえ、実	3門別コースにより、 3施方法やおもてな	阿波市役所 しコーナーな	を発着点る どを検討し	として高低差1 し、ランナーが	50mの全国 安全・安心	国でも珍しい起伏の厳し いに参加できるよう努め	い日本陸協公 ます。	認コースを採用して
AN				舌動を行し	`ますか。(主	なもの5	つまで)									
N		① 大会要項														
	事業の)		あ手続き												
	活動内容	③ 参加者募														
)		者の連絡												
		⑤ 部門別表														
		指標名	各	計算式又	ζは指標設定理	理由単	单位		令和 3			令和 4	年度	令和 5	年度	最終目標
	数値目標	参加者数			人気度を測る	こと		標		100			100		1000	1000
	(事業の目的			ができる	ため		<u> </u>	足績			0		7	17		
	及び活動内							標								
	容の達成度 を測る指標)							定績								
	で X1の 1日 1末 /							標								
	マ佐串ロ	<u> </u>		б л.	소리			実績		1 -	= 0	/p //+ /+ >	5 进			
	予算費目	会 計			会計	佐	款 10	_	年度決算			保健体育			保健体育	1 総務負
		国庫支出		· ΛΙ ·	3 年度決	子 T	和	4	平及沃昇 0 千P	令和		,	度予算	丹 令和3年度I	備考 + 新刑 ¬ □	ナウノルフ
		県 支 出	金			千円			0 1 P					円の影響によ		
		<u>宗 又 山</u> 地 方	債			千円			0 <u>+</u> F				0 +		71 1106	.0120
D	直接事業費	その他特定則				千円			0 fr 0 fr				0 +			
O		一般財				千円			11,076 千円			12	0 1 274 ∓			
		計(A)	ans.			千円			11,076 千円			•	274 千			
		正職員工数:	経費 0	313 人	1,906		.313 人		1,891 千円		3 人		897 千			
	人件費(B)	会計年度任用職員		/ \	1,000				.,	3.51	- /\	٠,				
	, 50 (= /	会計年度任用職員工		人	0	千円	人		0 千円	3	人		0 ∓	·円		
	全体事	 業費(A+B)			1 906				12 967 ∓			14	171 千			

						ック項目					一岁	マ評価			·次評価の				二次	評価	ī
		1.						「確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	大き	٤L١	総合計画を推進する	るために、	子ども	から高	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	ある		齢者まで				0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の回	句上のため	うに、耳	見在の手段	と、方	法等の改善の余	戻地がある。	•	ある	○ ない	١	けられてい			び回 フー	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサーヒ				隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0	いる	● いな	il١					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を調	実現するだ	ぬに、	事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	● いえ	.る	市民参加型				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化な	ど、施	策への貢	献度か	が著しく高いとに	まいえない 。	0	いえない	いえ	.る	活動を通じ 取り組める	て主体的な	は健康に	づくりに	0	いえない	•	いえる
CH	性	3.	市が実施する	る施策の「	中で類	似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	しな	(۱)	が参加する	らことから、	観光分!	野と連	0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	としても月	成果の	向上が期	待で	きない。		0	できない	● でき	る	とができま		/D I I C	と囚るこ	0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進	步状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に比	べて劣ってし	いる	新型コロラ				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成り	果があ	まり上が	うて	いないと思う	o	0	あまり上が	がっていない		は達しなが	かったが、	今後も	安心	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね	a目標	を達成し	てい	ると思う。		•	概ね達成	えしている		安全な大成に努め		行しい、自	∃標達	0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	付して十分	分に目	標を達成	して	いると思う。		0	十分達瓦	艾している						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコストカ	が高い	0				0	高い	● 適当	当	全国的なポーツ振!				0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	*のノウ/	ヽウや	新たな制	度を	活用できる。		•	できる	○ でき	ない	継続して	実施するこ	とが有	効で	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	∶成果の▮	関係で	、実施手	段等	を見直す余地	ぴある。	0	ある	ない	١	あるため、 経費の削	減につい	ても適!		0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変	変更な	どにより	コス	ト削減の余地	ヹがある。	0	ある	● ない	١	す必要が	あります。			0	ある	•	ない
						-	次評	価				•		•	=	次評価	į ,				
	評价	五点	必要性	有効	性	達成原	芰	効率性	総合評	価		必要性	1	有効性	達成原	更	効率性	生	総	合評	価
	△☆	後の	3 ○ 拡大·充	宝宝 🝙	<u> </u> 現状	3 ·維娃	$\overline{}$	3 方法改善	A ○ 民間委記	1生	0	4 拡大∙充	<u> </u>	4 ┃● 現状	4 ·維基	<u></u> し	4 ī法改善	<u></u>		A]委i	1年
		対性	○ 縮小	_		期設定		廃止/休止	〇 民间安日		-		$\widehat{\mathbb{O}}$	統合/終			<u>E止/休</u>		O KIF	134	
A) 1111	10 ,100	-	7711272		<i>55—7</i> PT			Ĭ			評価での					の相違点	į	
TIO								アスタッフとして 活動を推進する			参加	叩者増とな	るよ	う、記念品	やイベント	の周知	1方法や	費用	対効果の	精査	
N	改革と実計		事業を継続す 対効果を精査				体の	ノウハウなどを	を活用するなど	の費月	月	ボーツのま	まち阿]波市」のス	、ポーツ振	興の重	要施策	として	て続けてい	きま	す。
		€会 事項																			

	No. 34 —	12 基本事務事	業名 ジュ	_二ア駅伝	事業	事務	事業名	ジュ	ニア駅伝	事業		公的	関与 8	シ	/一ト作成日	令和5年	年6月9日
	部局名	孝	対育委員:	会	課名	社会	教育課		主務調	長名	i	板東	殺	シー	ート作成者名		内 美咲
	古米区八	① 1 ソフト	事業		3 経常的事務	事業	◯ 5 補	助金	҈∙負担金	∵支扬	爱 古 型		· + -	1 [直営	3	全部委託
	事業区分	0 2 N-F	事業		4 施設の維持	管理	〇 6 内	部管	理事務•	その	他	運営方	法	2 -	一部委託	<u> </u>	補助等
		基本構想(政	(策) 3	人が輝き	合う阿波				実施計	画				事業	€の開始・終	了	
	総合計画	基本計画(施	策)(4)	スポーツ	の振興			•	1 該当		平原	戈 17	年 ^	~ 令	3和 年	☑ 期[間設定なし
		主要施策	(3)	幅広いス	ポーツ活動の	普及促進		0	2 非該当	<u> </u>	根	処法令等	宇			<u>'</u>	
		対象(誰を、 何を)	阿波市ス	ポーツ少年	丰団団員												
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	青少年の	健全育成・スポー	ーツ振興・	団員間	交流を	を目的とし	ます。							
PL		たいのか)	今年度	できるだけ	け多くの少年団に	に参加して	もらえる	よう、	少年団の	大会等	等との日和	呈調整を	行い、愿	染症丸	対策を講じて	開催します	•
AN				舌動を行い	ゝますか。(主な	もの5つ	まで)										
N		① 大会要項															
	事業の	② 各少年団															
	活動内容	③ 大会役員		調整													
		④ 部門別表															
		⑤ 大会準備															
		指標名	各	計算式又	は指標設定理	由単位			令和	3 4		令和	4 年		令和 5		最終目標
	数値目標	参加チーム数		チーム対:	抗であるため	チー .		標			35			35		3	5 35
	(事業の目的			, _,,,			美	績			23			0			
	及び活動内							標									
	容の達成度 を測る指標)						実										
	で 空田(学)							標									
	7	A =11		60	A = 1		実		· #			- 1/D /z=	. / _ /- =	Þ		1/0/24/4	本似杂
	予算費目	会 計	1 ^	一般			款 10			<i>/</i>		6 保領					育総務費
		国庫支出		1和 3	1 15415 15		Д 4	4	年度決		令和	5	年度		△和4年度	備考	向けて準備を
		<u>国 </u>			0 1					千円 千円							当日雨天によ
		<u>宗 又 山</u> 地 方	亚 - 債		0 +					千円) 千円) 千円			
D	直接事業費	その他特定則			0 1					千円) 十円	<u> </u>	, , , , ,	
O		一般財	源		218 +				202					5 千円			
		計(A)	///\		218 T				202					5 千円			
		正職員工数:	経費 0	125 人	761 T		25 人		755		0.125			7 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員		/ (751	.,	/\		, 00		2.1.20	`					
	11132 (2)	会計年度任用職員工		人	0 =	-円	人		0	千円		ν) 千円			
	全体事	業費(A+B)			979				957					2 千円			

					ック項目					— <u>}</u>	欠評価		_	-次評価の	り説明			二次	評価	í
		1.	市が実施しなく主体があり、事						0	少ない	•	大きい	健全育成	駅伝を通し なやスポー	ツ振興	の他、	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況	元の中、次年	F度以降実施	をする緊急	急性が認	!められない。	0	ない	•	ある		少年団所原 校児童、第			0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の向」	Lのために、	現在の手段、	方法等σ	の改善の余	≷地がある。	0	ある	•	ない		で対しているため			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの低上回るサービス			媾自治体 。	と比較し	てニーズを	0	いる	•	いない	流の場と	して有効で	ぎす。		0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現	見するために	、事業内容が	が必ずしも	も適切とは	はいえない。	0	いえない	•	いえる		ポーツ少生			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマンネ	り化など、放	施策への貢献	度が著し、	く高いとは	はいえない。	0	いえない		いえる	ができ、7	なおかつ駅	伝を通	乱してス	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する旅	施策の中で類	類似・重複!	した事務	事業が存	在する。	0	する	•	しない		.興、体力 <i>0</i> 、目標達原			0	する	•	しない
KOHHOK		4.	事業の継続をし	ても成果σ	O向上が期行	寺できない	い。		0	できない	•	できる	す。				0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対し	して進捗状況	兄が劣ってし	いると思	う。		0	目標に上	とべて劣	っている		多くの少年団 の大会等と重			0	目標に比り	て劣	っている
	達	2.	目標設定に対し	て成果があ	まり上がっ	っていなり	いと思う	0	0	あまり上	がってい	ない		要がありますこより中止とな			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対し	て概ね目標	票を達成し ⁻	ていると	思う。		0	概ね達成	成してい?	 გ	加チーム数	は令和3年度成しています	度まで増		0	概ね達成	してい	3
	^	4.	目標設定に対し	て十分に目	標を達成し	している。	と思う。		0	十分達	求してい	<u>-</u> る		,,,,,,	Ü		•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べてコ	コストが高い	١,				0	高い	•	適当	効率よく	実施できて	います	•	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体の	0/ウハウギ	b新たな制度	度を活用・	できる。		0	できる	•	できない				,	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と成	 大果の関係で	き、実施手具	没等を見ī	直す余地	がある。	0	ある	•	ない				•	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約方	方法の変更な	ょどにより:	コスト削減	減の余地	!がある。	0	ある	•	ない				•	0	ある	•	ない
					ーク	マ評価								=	次評個	5				
	評値	甲	必要性	有効性	達成度	効	率性	総合評	価		必要性	<u> </u>	有効性	達成原	支	効率性	生	総	合評	価
	△ ½	を の	4 ○ 拡大·充実	4 译 ┃ <mark>●</mark> 現物	<u>3</u> ⊬維持	<u> </u> 〇 方法i	4. 改盖	A ○ 民間委詞	千笙	С	4	<u> </u> :•充実		4 *維基	07	4_ 5法改善	É	〇 民間	A 逐影	1年
		句性) 統合/終		_	/休止	〇 民间安日		-			統合/終			<u> </u>			134	<u>. 4</u>
C			G III I	- 110		<u> </u>)指摘事項				の相違点		
ACT-O			多くの少年団が り交流のない学						普段は	徳				きあるこの~	イベント	・に、より	多くの)子供たち	が参	シ加でき
N	計	画	必要となるスキル	ル等の講習る	を開催し、各	団の団員	∙指導者	の育成を図り	ます。		よう、更	なる事業	美効果を目	指します。						
		員会 i事項																		

	No. 34 —	13 基本事務事	業名 徳島	駅伝事務	Š	事務事	事業名 征	徳島駅伝事務			公的関与	8 シ	·一卜作成日	令和5年	6月12日
	部局名	教	育委員会		課名	社会教	対育課	主務課	長名	析	東 毅	シー	−ト作成者名	大	为 美咲
	市娄区八	○ 1 ソフト?	事業	0 3	3 経常的事務	事業 🤄	5 補	助金·負担金·	支援	中茶品		✓ 1 億	宣営	3 至	È部委託
	事業区分	○ 2 ハード	事業	0 4	4 施設の維持	管理(6内	部管理事務•-	その他	争未迟	営方法 -	2 -	−部委託	✓ 4 ¾	輔助等
		基本構想(政	<mark>(策)</mark> 3. 人	が輝き台	う阿波			実施計画	1			事業	€の開始・終〕	7	
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (4)ス	スポーツの	の振興			● 1 該当		平成	17 年	<mark>~</mark> 令	和年	✓期間	設定なし
		主要施策	(3)	畐広いス7	ポーツ活動の	普及促進		○ 2 非該当		根拠	法令等				
		対象(誰を、 何を)	徳島駅伝[河波市選	手団及び役員										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし						と発展を図り、競 :目的とします。	競技者が	が正しい訓	練を重ね、	技術を磨	善くことで、健康	な身体と	建全な精神の
PL		たいのか)	7年度	育成 、競技	力向上に努め	ます。		できるよう阿波	市陸上	競技協会	とともに競技	支者の底	辺拡大と競技	者数の増	加、選手強化・
A					ますか。(主な	よもの5つき	まで)								
N		① 徳島駅伝	競技運営の	の連絡調整	圣										
	事業の)			F選考会の開係	崖									
	活動内容	0	手団本部(
)	中継所役		周整										
)	び解団式の												
		指標名			は指標設定理			令和	3 年月	变	令和 4 :	年度	令和 5	年度	最終目標
	数値目標				および達成度を	測	目標								
	(事業の目的			ることはで	きません。		実統								
	及び活動内						目標								
	容の達成度 を測る指標)						実統								
	と別の日本						目標								
	マ佐井口	<u> </u>		6П. 🗸	\= 1		実統			-= o		連		1/D //# /+ 2	- 40.35 建
	予算費目	会 計	令和	一般组 10 3	年度決領	<mark>!</mark> 算 │ 令和		教育費 年度決算	5 <u>^</u>		保健体育 5 年月	頁 麦予算	目 1	保健体育 備考	目総労負
		国庫支出		<u>ч</u> э	<u> </u>		4			ጋ	5 + 15		↑ 令和3年度(1十ウイルス
		県支出	金		0 =			0 1							間の短縮に
		<u>ハ ス 田</u> 地 方	 債		0 =			0 7				0 千円	伴い宿泊費	が削減と	なりました。
D	直接事業費	その他特定則			0 =			0 7	_			0 千円	また、夏合宿	宮が中止と	こなりました。
O		一般財	源		3,500 =			4,400 1			4,4	00 千円	1		
		計(A)			3,500 =	千円		4,400	·円		4,4	<mark>00</mark> 千円	1		
		正職員工数·	経費 0.5	00 人	3,044	千円 0.500) 人	3,021	円 0.	.500 人	3,0	30 千円	1		
	人件費(B)	会計年度任用職員													
		会計年度任用職員工数	牧·経費	人	0 =		人	0 =		人		0 千円			
	全体事業	業費(A+B)			6,544	千円		7,421 1	·円		7,4	<mark>30</mark> 千円			

						ク項目					一次	評価		_	·次評価の	D説明			二次	評価	Ī
		1.						確保できる等 響は大きくな		〇 少	ない	大き	۱):	徳島県郡 春の県下	恒例イベ:	ントです	。毎	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、	次年原	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	○ な	い	ある		年参加す				0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の同	向上のため	に、現	在の手段	、方	法等の改善の余	€地がある。	O あ	る	ない		指導者の 向上を図				0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	O 11	る	いな	い	帯感を高	めることを	目指し	ます。	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するた	めに、	事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	O 11	えない	● いえ	る	駅伝を通生から社				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化なと	í、施领	策への貢献	ば度が	著しく高いと	まいえない 。	O 1	えない	いえ	る	村間の交	流を図る	ことがて	き、さ	0	いえない	•	いえる
C	姓	3.	市が実施する	る施策の中	で類値	以・重複	した	事務事業が存	在する。	<u></u> ਹ ਰ	3	しな	い	らにスポ- ことで、ジ	ーツ少年区 ュニアかり	ロと連携 ら一貫し	する た育	0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	としても成	果の「	句上が期	待で	きない。		<u></u> ਾ	きない	● でき	3	成に有効	です。		•	0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗	状況	が劣って	いる	と思う。		○ 目	標に比	べて劣ってし	る	毎年の積∂ しずつ上か				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果	がある	まり上が	って	いないと思う	0	() b	まり上が	っていない		民の関心も	高まってし	います。	また、	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標	を達成し	てい	ると思う。		〇概	ね達成	している		儀や襷をつ		の責任感	など、	0	概ね達成	してい	る
	,	4.	目標設定に対	対して十分	に目れ	票を達成	して	いると思う。		+	分達成	している		精神面でも	鍛えられて	こいます	0	0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコストが	高い。)				〇高	آل۱	● 適当	á	チーム力強の確保や資				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハ	ウや新	新たな制	度を	活用できる。		<u></u> ਾ	きる	● でき	ない	した支援や	運営体制	が必要な	了一方、	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	∶成果の関	係で、	. 実施手	段等	を見直す余地	がある。	あ	る	○ ない		宿泊費削減地があるも	のは検討し			0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変	更な。	どにより	コス	ト削減の余地	゚゚ゕ゙゙ある。	O あ	る	● ない		- に努めます	0		,	0	ある	•	ない
						— <u>}</u>	欠評	価			T				=:	次評価					
	評値	三点	必要性	有効性	ŧ	達成度	Ŧ	効率性	総合評	価	Ú	必要性	1	有効性	達成原	7±	効率性	±	総	合評	価
		後の	4 ○ 拡大·充	4	<u>_</u> 現状	4 纸++	$\overline{}$	3 方法改善	A ○ 民間委記	1年	0	4 拡大∙充	宝宝	4 ┃ ● 現状			4 法改割	=		A 【委託	1年
		り性				明設定		<u>カムは音</u> 廃止/休止	〇 民间安部	L 17		縮小		統合/終			止/休		O KIE	少点	L T
A	731	•												評価での					の相違点	į	
TIO		重の題	したり、各学校	交やスポー	ツ少年	団と連携	見て		・勧誘して競技: らの一貫した選 要です。		小中	中校の学校	をと連	携し、指導	҈者∙選手(の育成を	を継続的	りに実	『施します		こ、ジュ
N	と多	革案 ミ行 画	今後の長期的 学校と連携し です。	ー かな視野か 、小学生選	らも、 手かり	競技人口	の拡的・総	- 充を図るため	こ、各小中学校 進めていくこと	读・高等 ☆が必要		駅伝等の	イベ	ントにより、	選手の発	き掘にも	力をい	れます	;		
	委員 指摘	曼会 事項	no																		

	No. 34 —	14 基本事務事	業名スプ	ペーツ推進	委員会事務	事務事	業名スプ	ピーツ推進	基委員会	会事務	公的関与	8 シ	一卜作成日	令和5年	6月12日
	部局名	教	育委員	会	課名	社会教	育課	主務認	果長名		板東 毅	シー	-ト作成者名	浅	野 拓実
	事業区分	● 1 ソフト			3 経常的事務			金·負担金			運営方法	✓ 1 直			è部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理 🔘	6 内部	管理事務		也	连百刀瓜		·部委託		輔助等
		基本構想(政						実施計	·画				の開始・終		
	総合計画	基本計画(施						1 該当		平成		<mark>~</mark> 令	和 年	三」」期間	設定なし
		主要施策	(3)	幅広いス	ポーツ活動の音	普及促進		2 非該当	<u> </u>	根	処法令等				
		対象(誰を、 何を)	運動・ス	ポーツに興	味、関心のあるす	市民									
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	「市民ひと	ニリ1スポーツ」を	目指し、地域	或スポーツ	の振興とな	定期的な	なスポーツ	の実施率の)向上を目	的とします。		
PL		たいのか)	今年度	市民の生	涯スポーツの普え	及∙振興、頌	康増進を	図ることを	目的とし	します。					
AN					ヽ ますか。(主な	もの5つま	で)								
N		① 各研修会													
	事業の	② ニュース7		クレーショ	ン教室の開催										
	活動内容	③ 広報活動													
		4 スポーツ		の派遣											
		⑤ 定例会の] = //rt =				\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	• <i>F</i>	- ri [A 1- 4	<i>-</i>	A 1	<i>F</i> #	
		指標名	<u> </u>	計算式入	(は指標設定理)	由単位	□ ==	令和	3 年		令和 4		令和 5		最終目標
	数値目標	定例会等活動	回数	活動数			目標 実績			40 5		40 7		40	40
	(事業の目的 及び活動内						目標			3					
	容の達成度						実績								
	を測る指標)						日標								
							実績								
	予算費目	会計		一般	会計	款		育費		項	6 保健体育	育費	目 1	保健体育	育総務費
			수	î和 3	3 年度決算	「 令和	4	年度決	算	令和	5 年	度予算		備考	
		国庫支出			0 千			0	千円			千円			
		県 支 出	金		0 ∓				千円			千円			
	直接事業費	地 方	債		0 f				千円			千円			
00		その他特定則			0 T				千円			千円			
U		一般財	源		1,666 ∓			2,045				852 千円			
		計(A)	22 建 0	0F0 I	1,666 千			2,045		0.050		852 千円			
	人件費(B)	正職員工数·名 会計年度任用職員		250 人	1,522 千	円 0.250	<u>۸</u>	1,511	千円	0.250 丿	1,	<mark>515</mark> 千円			
	八什貝(D)	会計年度任用職員工		人	0 ∓	ш	<u> </u>	0	千円	ı		0 千円			
	全休事	業費(A+B)	7130	八	3,188 ↑		人	3,556				367 千円			

					・エック項					_	次評価	li i		一次評価	の説	明		二次	:評価	б
		1.					が確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	•	大きい	スポーソ	スポーツをロ ソの普及振	興の7	ためにス		少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	状況の中、ジ	7年度以降	実施す	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある	ポーツ技	催進委員は	重要	な存在で	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の回	句上のために	、現在の手	段、方	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない	9 .				0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサーヒ			近隣自	自治体と比較し	ン てニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を顕	実現するため	に、事業内	容が必	必ずしも適切とロ	まいえない 。	0	いえな	γ (O	いえる		体や小学校 などの依頼			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など.	施策への	貢献度:	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	n 💿	いえる	ニュース	スポーツ・レ	クレー	ーション活	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	6施策の中で	ご類似・重	複し <i>†</i>	こ事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない		子どもから 動の普及に			0	する	•	しない
KOMEO		4.	事業の継続を	としても成界	見の向上が	期待で	できない。		0	できない	ν	できる	す。				0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗も	状況が劣っ	ている	ると思う。		0	目標に	比べて針	らっている		コナウイルス			0	目標に比	べて劣	うている
	達	2.	目標設定に対	付して成果だ	があまり上	がって	ていないと思う	5 。	0	あまり上	こがってし	ない	ましたか	、感染症を	寸策を	講じな	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目	目標を達成	してし	いると思う。		0	概ね達	成してい	 いる		3例会や二: 活動を行い			0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	付して十分に	目標を達	成して	ていると思う。		Ō	十分達	成してに	る		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		-0	•	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	コストが高	高い。				0	高い	•	適当	効率より	(活動できて	こいま	す。	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウ	つや新たな	制度を	を活用できる。		•	できる	0	できなし	١.				0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係	系で、実施	手段等	等を見直す余 地	也がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更	見などによ	りコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
						一次評									次評	•				
	評値	西点	必要性 4	有効性	達瓦		効率性	総合評	価		必要	性	有効性	達成	芰	効率	生	総	合評	<u>·</u> 価
	全征	を の		<u> 4</u> 実 ● ∃	<u> 3</u> 見状維持		<u> 3</u> 方法改善	A ○ 民間委詞	千笙		<u>4</u>)拡え	L 大∙充実	4	_ 4 状維持		4 方法改善	É		A 『委』	
Λ		句性	○ 縮小		終期設定		廃止/休止	O MINIST)縮/			<u>咚期設定</u>	_	<u>房止/休</u>		0 2012		<u>.,,</u>
C												=		の指摘事項	頁及(ゾー次評	価と	の相違点	į	
ACH-O							に、より多くのī る必要がありま		得られ	市				スポーツ振!			こ努 <i>は</i>	かます。ま	た推	進員も世
N	と多			、委員の活動	動を幅広くF		さし、地域スポーションで、スポージ			H	交代を	き図り、よ	り活動的に	こ事業を進	めてし	いきます。				
		員会 i事項	n																	

	No. 34 —	15 基本事務事	業名 総合型	也域スポーツク [・]	ラブ活動補助事	≇ 事務事	業名総合	型地域スポーツクラ	ラブ活動補助	事業 公的関与	8 シ	一卜作成日	令和5年	6月9日
	部局名	教	育委員会		課名	社会教		主務課長	•	板東 毅	シー	ート作成者名		丸 美咲
	事業区分	○ 1 ソフト	事業	○ 3 糸	怪常的事務	事業 ●	5 補助3	金·負担金·支	援	業運営方法	1 値	営	3 全	部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	〇 4 方	を設の維持	管理 〇	6 内部管	管理事務・その	り他	未理呂刀広	_ 2 -	-部委託	✓ 4 補	助等
		基本構想(政	<mark>策)</mark> 3. 人	が輝き合う	阿波			実施計画			事業	の開始・終了	•	
	総合計画	基本計画(施		ポーツの挑	長興		<u> </u>	1 該当		·成 17 年	~ 令	·和 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(3)帽	広いスポー	ーツ活動の	普及促進	0	2 非該当	木	艮拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	総合型地域	tスポーツク [・]	ラブ会員									
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし						プラブライフの創 青少年の健全					-ツ及び文イ	化的活動を通
PL		たいのか)	今年度	業活動の見	見直しや会員	の増加、又	、会員が主	E体的に企画運	営できる	クラブづくりが圓	図れるよう:	指導します。		
A		具体的にど σ				きの5つま	で)							
N		① スポーツ・												
	事業の	② スポーツ・		コン大会の開	昇催									
	活動内容	③ 理事会·約												
		4 広報活動												
		0	体験会の開				_							
		指標名		†算式又は	指標設定理	由 単位		令和 3		令和 4		令和 5		最終目標
	双胆口尔	総合型地域ス	ポーツク	:員数		人	目標		350		350		350	350
	(サネッロロ)	ラブ会員数					実績		211		210			
	及び活動内 容の達成度						目標							
	を測る指標)						実績 目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般会計	+	款		 	項	 6 体育総数	&	目 1	保健体育	2 終
	了开具口	ДП	- 令和		年度決算		4	年度決算	令和		度予算		備考	7 心力 英
		国庫支出			0 1			0 千円	13 TH	0 1	及] 异 0 千円		ני מון	
		<u> </u>	金		F 0			0 千円			0 千円			
		地方	債		F 0			0 千円			0 千円	1		
D	直接事業費	その他特定則	け源		F 0	千円		0 千円			0 千円	1		
0		一 般 財	源		1,500 ₹	f円		1,500 千円		1,	350 千円			
		計(A)			1,500 _∃	千円 一		1,500 千円		1,	<mark>350</mark> 千円			
		正職員工数·紀			1,522 _∃			1,511 千円	0.250	,	<mark>515</mark> 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員		合型SCコー	-ディネーター			・テ゛ィネーター		↑型SCコーディネ	トーター			
		会計年度任用職員工数	b·経費 0.25	0 人	518 ₌		人	513 千円	0.250		<mark>521</mark> 千円			
	全体事業	業費(A+B)			<mark>3,540</mark> ∃	千円		3,523 千円		3,	<mark>386</mark> 千円			

					ェック項目					一次	評価		_	·次評価の	D説明			二次	評価	Ī
		1.	市が実施した主体があり、						少	ない	大き	ŧ۱۱	文部科学 ポーツク ラ	ラブ1団体			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、次	年度以降実	施する	る緊急性が認	ぬられない。	つな	L)	ある		奨する事	業です。			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向	句上のために、	現在の手段	、方法	去等の改善の糸	戻地がある。	○ あ	3	ない	١					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサート			隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	O 1/2	3	いな	:۱۱					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	こ、事業内容	が必っ	ずしも適切とは	はいえない。	○ w	えない	いえ	.る	市民の日り、地域=				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、	施策への貢献	ば度が	著しく高いとに	まいえない 。	رن ان	えない	いえ	.る	流•仲間つ	づくりの場	となって		0	いえない	•	いえる
CH	性	3.	市が実施する	6施策の中で	類似・重複	した	事務事業が存	在する。	○ す	3	しな	い	地域活性	化に有効	C 9 。		0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	としても成果	の向上が期	待で	きない。		() でき	きない	● でき	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状	況が劣って	いる。	と思う。		〇 目 ²	標に比べ	べて劣ってし	る	現在、吉里にそれぞ				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果が	あまり上が	ってし	いないと思う	0	○ あま	きり上が	っていない		立し、運営	さしていま	す。阿派	市民	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目	標を達成し	てい	ると思う。		〇 概:	ね達成	している		に幅広く活			`後も	0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	付して十分に	目標を達成	して	いると思う。		+:	分達成	している						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高	ل۱ _°				〇 高	い	適当	¥	補助金に査し、効果				0	高い	•	適当
	効変	2.	他の実施主体	*のノウハウ	や新たな制	度を済	活用できる。		○ で	きる	● でき	ない	いく必要が				0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係	で、実施手	段等	を見直す余地	がある。	○ あ	3	● ない	١					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	力方法の変更	などにより	コス	ト削減の余地	がある。	ある	3	ない	١					0	ある	•	ない
					— <u>;</u>	欠評值								=	次評価	•				
	評值	西点	必要性	有効性	達成度	Ę	効率性	総合評	価	ý.	必要性	1	有効性	達成原	支	効率性	ŧ	総	合評	·価
	<u></u>	を の	4 ○ 拡大·充	4 :宝 ⋒	_ 4 状維持 ┃		4 方法改善	A ○ 民間委記	千等	0	4 拡大∙充	<u> </u>	4 ┃● 現状	4 ·維持	<u></u> 方	<u>4</u> 法改善	<u> </u>		A]委記	华
A		句性	○ 縮小		8期設定		死少 <u>人</u> 発止/休止	O KINGE			縮小	Ô	統合/終			<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	-
A				•	•								評価での					の相違点	į	
T		型した						に努めていま 1や事業を拡大												
10	詸	題	ために、広報	活動や活動日	等、改善す	る必要	要があります。													
Ň	改造	革案						づくり・地域社会			数の確保	よが 重	重要であり、	広く市民·	への周知	印に努る	かます	r.		
	وع	€行						よび地域の既存 方向性を決め、҈		1										
			進していきます		74-77IBC7		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	. J. J. T. C. // (V/) -	, >1< 1E											
		員会 i事項																		

	No. 34 —	16 基本事務事	業名阿派	皮市スポー	-ツ協会事務	事	务事業名	阿汲	皮市スポーツ	劦会事務	公的	関与 8	シート作り	戊日 令和5年	6月9日
	部局名	教	育委員:	会	課名	社会	会教育課		主務課長		板東	殺	シート作成		5 美咲
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事				₢∙負担金∙支		業運営方	·	直営		部委託
	争未匹力	○ 2 ハード			4 施設の維持	持管理	0 6 [内部管	管理事務・その	の他 ^サ	未连百刀	2	一部委託		助等
		基本構想(政							実施計画				業の開始		
	総合計画	基本計画(施	-			- V - I-			1 該当		成 17		令和	年 🗵 期間	設定なし
		主要施策	(3)	幅広いス	ポーツ活動の	の晋及促	進	0	2 非該当	村	视法令等	Ē			
		対象(誰を、 何を)	阿波市ス	ポーツ協会	会員(阿波市	で活動す	るスポー	ツ団体	本)						
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的		おけるスポー りに寄与する				の心身の健全	な発達と仮	津康の増進	、体力、競技	技力の向上	を目指すとともに	こ、明るく豊か
PL		たいのか)	今年度	スポーツク	少年団から社会	会人チーム	ムまで幅の	なく選	手と指導者の	育成に努め	りるとともに	、加盟団体	の増加、強	ὰ化・育成を目指	します。
A		具体的にど σ	しような活	5動を行い	ますか。(主	なもの5	つまで)								
N		1 各競技団													
	事業の	② 各競技団		者の育成											
	活動内容	③ 各スポー													
		4 総会·理事													
		⑤ スポーツ[, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	-m _L 22/	<i>1</i>		A 7	F #	A 1-	, <u> </u>	1 A 7	- F -	
		指標名	<u> </u>	計昇式又	は指標設定	埋田 単	.位	標	令和 3	<u>年度</u> 3500		4 年度 350		」 5 年度 3500	最終目標 3500
	数値目標	スポーツ協会会	会員数	会員数				# [1948		208		3500	3500
	(事業の目的 及び活動内							標		1340		200	00		
	容の達成度							<u>- 1/示</u> €績							
	を測る指標)							標							
								€績							
	予算費目	会計		一般:	会計		款 10	教育	費	項	6 保健	体育費	目	1 保健体育	育総務費
				·和 3	1 /2//		·和	4	年度決算	令和	5	年度予算		備考	
		国庫支出				千円			0 千円			0 千			
		県 支 出	金			千円			0 千円			0 ∓			
	直接事業費	地 方	債			千円			0 千円	1		0 T			
DO		その他特定則 一 般 財	源		3,000	チ田			0 千円 3,000 千円			0 ∓ 3,000 ∓			
		<u> </u>	//示		3,000				3,000 千円			3,000 ±			
		正職員工数:	経費 0	250 人	1,522		250 人		1,511 千円	0.250	J	1,515 千			
		会計年度任用職員			.,022	117 0.			1,011	0.200	/\	1,010			
	, ,	会計年度任用職員工数	女·経費	人	0	千円	人		0 千円		人	0 ∓	·円		
	全体事業	業費(A+B)		<u>'</u>	4,522	千円			4,511 千円			4,515 千	·円		

			チェック項目			一次	マ評価		_	次評価の	説明		二次	評価	
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できまながあり、事業を廃止・休止しても影響は大き		0	少ない	大き	:61	のための	市民スポー	ポーツ振興 -ツの中心的	○ 小	りない	• 7	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性	性が認められない。	0	ない	ある		な活動組織付は妥当		補助金の交	○ ta	ほい	d	5 る
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改	善の余地がある。	0	ある	● ない	١	別は女ヨ	C 9 。		() to	5る	• to	よい
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と 上回るサービスとなっている。	比較してニーズを	0	いる	● いな	ill) l	る	Ο ι	いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適	切とはいえない。	0	いえない	いえ	.ි			スポーツ大会活動は直接	() l	いえない	Ο ι	ハえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高	いとはいえない。	0	いえない	● いえ		市民の健	康増進に	つながるので	○ r	いえない	ι	ハえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事	美が存在する。	0	する	しな	١١	有効です。			O ₫	る	Ο ι	_ノ ない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。		0	できない	● でき	る				0 7	できない	• 7	できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。		0	目標に比	べて劣ってし				が、各種イ どの市民全	O 8	標に比へ	て劣っ	ている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていない。	:思う。		あまり上か	ぶっていない		体に向け	た普及活動	を行ってい	O あ	まり上がっ	ていな	い
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思	5 .		 概ね達成			く必要があ	ちります。		〇概	ね達成し	ている	
	^	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると	思う。	_	十分達成						• +	-分達成し	ている	
		1.	効果に比べてコストが高い。		0	高い	● 適当				ルており、	〇 i	高い	① ji	適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用でき	きる。	0	できる	○ でき				≷地もありま を活用して	0 7		• 7	できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す	ナ余地がある。	•	ある	○ ない	١	います。			○ <i>t</i> t	5る	• to	まい
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の	D余地がある。	0	ある	● ない	١				○ <i>t</i> .	5る	• to	まい
			一次評価		<u> </u>					二次	マ評価				
	評化	西点	必要性 有効性 達成度 効率		価	y.	必要性	有	可効性	達成度		性	総	合評 個	Б
		後の	4 4 4 3 2 ○ 拡大·充実	B 善 ○ 民間委託	エ 生	0	4 拡大∙充			4 - 丝# t=	<u>4</u> ○ 方法改	Ė () 民間	<u>A</u> 委託	笙
		句性			<u> </u>		縮小	-	統合/終					女儿	1
C		- · · · ·	O THE O THE PROPERTY OF THE PR	_		Ť	-				及び一次評		相違点		
ACTIO			スポーツに参加する人を増やすために、スポーツのす する必要があります。	参加を促すような事	業を企	各団		間行事	事案を策定	させ、自言	三運営を促し、	. 効果的	な事業	推進に	二向けて
N	と事	革案 実行 ·画	それぞれの競技団体が企画立案し、自主運営し、阿効果的な事業の実践に努めていくよう指導していきま		つなげ	指導る	算します。								
		員会 i事項													

	No. 34 —	17 基本事務事	業名文化	財保護	事業	事	務事業	名文化	上財保護	事業		公的	関与 1	シー	卜作成日	令和5年	6月16日
	部局名	教	育委員:	슾	課名	社	会教育	課	主務認	果長名		板東	毅	シート	作成者名		泰治
	事業区分	○ 1 ソフト		0	3 経常的事	務事業			金•負担金			業運営方	<u>;</u>	1 直営	l	□ 3 全	部委託
	事未四刀	○ 2 ハード	事業		4 施設の維	持管理	0 6	6 内部管	管理事務	・その	他	长连舌刀	<u>ا</u>	2 一部	委託	□ 4 補	助等
		基本構想(政	(策) 3	人が輝き	合う阿波				実施計	·画			1	事業の	開始·終了		
	総合計画	基本計画(施	(5)	文化芸術	析の振興			(1 該当		令	印	年 ~	令和	年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	文化財 σ	D保存·活用			0	2 非該当	当	根	拠法令等	文化財化	呆護法、文·	化財の保護に関	する条例、阿波	市文化財保護条例
		対象(誰を、 何を)	文化財	保護法第	2条及び第18	2条第2耳	項並びに	第6章(こ規定され	る文化	比財 (国	・県・市指	定文化財	・埋蔵ゞ	て化財)		
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	文化財を 図ってい	将来の文化の きます。)向上発原	展の基礎	をなす	ものと位置	ざけ、	保護保存	を適切に	行うととも	にその	活用を通じ	て市民の	文化的向上を
P		たいのか)	今年度	市内の未	指定文化財に	こついて訓	周査研究	及び指!	定を行いま	きす 。							
A		具体的にど σ															
N		① 国·県·市	指定文化	財のうち、	、阿波市が管理	里義務を	負う12件	‡の指定	文化財の	維持管							
	事業の				対において、戸			「行う保ィ	存修理及で	が活用	事業に対	する補助	助成				
	活動内容	0 1			研究及び、新												
		0 .			阿波安国寺跡												
		0			保存目的調査.			緊急調									
		指標名	3	計算式又	スは指標設定	理由	単位		令和	3 4		令和	4 年度		令和 5		最終目標
	数値目標 (事業の目的	市指定文化財数		市指定文	化財数		件	目標 実績			53 51			54 59		60	62
	及び活動内		萱 理	定点撮影	 ジ回数		<u> </u>	目標			6			6		6	6
	を測る指標)	ハ <u></u> 本 ** : - * : L 7	· ## + //.	北海赤	こになじまないが	t- th		<u>天</u> 頓 目標			0			0			
		公共事業における 財包蔵地照会数) 生	担保設を設定しな		(Δ)		実績			2			0			
	予算費目	会計		一般	会計	•	款	10 教育	費		項	5 社会	教育費	•	目 4	文化振興	!費
				和	3 年度決	2 算	令和	4	年度決	:算	令和	5	年度予	算		備考	
		国庫支出			1,000				1,000					千円			
		県 支 出	金		145	千円			145	千円			145				
	直接事業費	地 方	債			千円				千円				千円			
D		その他特定則				千円				千円				千円			
0		一般財	源		3,916				5,266				3,807				
		計(A)	₩ 0	200	5,061		2.000			千円	0.000		3,952				
		正職員工数·紀会計年度任用職員		900 人	5,480	†H (0.800	\	4,834	千円	0.900	^ <u> </u>	5,454	十円			
		会計年度任用職員工数		000 人	0	千円 C	0.000	l l	0	千円	0.000	 	0 -	千円			
	全体事	業費(A+B)	3.		10,541		,,,,,,	`	11,245			- `	9,406				

					チェック項目					_	次評価	5		_	-次評価の	の説	明		二次	評価	Ī
		1.					が確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	•	大きし	۱,	護法第3	すについて 条におい	て地ブ	5公共団	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政権	犬況の中、	次年度以降	実施す	よる緊急性が 認	忍められない。	0	ない	•	ある		体の任務 す。	めと位置づ	けられ	こていま	0	ない	•	ある
	生性						法等の改善の		0	ある	•	ない		9 0				0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサート			近隣自	自治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いなし	,١					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	に、事業内	容が必	がずしも適切とに	まいえない 。	0	いえな	n O	いえる	3		だは活用事 め有効性			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	シネリ化など	、施策へのi	貢献度:	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	n 💿	いえる	3	せんが、	活発な活	甲事業	業を実施	0	いえない	•	いえる
C	姓	3.	市が実施する	る施策の中で	で類似・重	複し <i>t</i>	と事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなし	.1	すること ます。	こよって効	果は	期待でき	0	する	•	しない
KOHHOK		4.	事業の継続る	をしても成り	果の向上が	期待で	できない。		0	できなり	n O	できる	5					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗	犬況が劣っ	ている	ると思う。		0	目標に	比べて貧	岩ってい	る		€の展開が 、今以上の			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	があまり上	がって	こいないと思う	5 .	0	あまり」	こがってし	いない		により十つ	分な期待値	直が得		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標を達成	してし	いると思う。		0	概ね達	成してい	いる		ものと考え	えています	0		0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	対して十分(こ目標を達	成して	ていると思う。		•	十分達	成してに	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが	高い。				0	高い	0	適当		効率的にはできて	維持管理	や保	護保存	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハワ	りや新たな	制度を	を活用できる。		0	できる	•	できた	ほい	14 6 6 6	0.29.			0	できる	•	できない
	坐性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	系で、実施	手段等	手を見直す余 地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変	更などによ	りコフ	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						−次評								•	=	次評	•				
	評值	点面	必要性	有効性			効率性	総合評	′価		必要	性	1	与 効性	達成原	芰	効率性	生	総	合評	-価
	<u></u>	後の	4 ○ 拡大·充	4 (1)	 4 見状維持		<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委記	4 生		<u>4</u>)拡z	 大•充	<u></u>		<u>4</u> ₿維蛙		4 方法改善	É		A ■禾■	 £笙
		り性			/終期設定	10	廃止/休止	〇 以间安市	<u> </u>) 縮/		$\overline{\bigcirc}$	統合/終			廃止/休		O KIF	1320	L 47
C				•							J 1111	_			指摘事項				の相違点	į	
T		面の					ŧ団体の任務と 採用などを含め														
ACH-O	課	題	充実を行う必				жп′≎Ссб	アンファイルの	ן <i>ע</i> ט נינוו												
N	74.4	+=	-				= + ¥4. I		L 4		係機関	関と連携	携し、	文化財份	呆護管理に	努め	ます。				
							用事業として、5 、また、市内に§														
		画					ード事業の展														
		会 事項																			

	No. 34 —	18 基本事務事	業名 文化	化財保護	(啓発)事業	: [事務事	業名 歴	史館•資料館	事業	公的	関与 1 シ	ノート作成日 令和5	年6月16日
	部局名		育委員		課名		社会教育		主務課長		板東			林 泰治
		① 1 ソフト ³			3 経常的				金·負担金·3	. 년호		/ 1 7		全部委託
	事業区分	0211-1		Ö	4 施設の約				管理事務・そ		業運営方	. +		補助等
		基本構想(政		人が輝き					実施計画	1.0			美の開始・終了	1113.73
	総合計画	基本計画(施)文化芸術				() 1 該当	4	介和			間設定なし
		主要施策			の有効利	用		Č			根拠法令	等 阿波市立歴史	館設置及び管理に関する条例、阿波	市立歴史館管理運営規則
		対象(誰を、 何を)	阿波市貝	₹										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的						示及び資料に関 っていきます。	関する調査	₹・研究を行	rう中核施設し	て位置づけ、活発な普	及啓発や
PL		たいのか)	今年度	入館者埠	曾に繋がる企	画展や	イベントな	どの事業	美に取り組みま	す。				
A		具体的にどの		— .		主なもの	か5つま	で)						
N		0 -			保存·展示									
	事業の	② 歴史・民作												
	活動内容	③ 特別展・1				ムなどの	各種イベ	ント事業						
				展示替え	等)									
		⑤ 施設の修		T=1 /// _t =	-,, <u>1</u> 2,==0.	5-m _ L [22/ J.L.		A 70 0	<i>-</i>	I 人 1-	, <u> </u>		
		指標名	<u> </u>	計昇式	又は指標設定	正埋田	単位		令和 3		令和		令和 5 年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	土成歴史館入館	者数	展示入館	官者数		人	目標 実績		1500 213		1500 298		0 2000
	及び活動内 容の達成度	市場歴史民俗資料 入館者数	料館	展示入飢	含者数		人	目標 実績		2000	_	2000 302		0 3000
	を測る指標)							目標						
								実績						
	予算費目	会計		一般	会計	<u> </u>	款	10 教	育費	項	5 社会	≹教育費	目 6 歴史館	費
			4	介和	3 年度	決算	令和	4	年度決算	令和	5	年度予算	備考	
		国庫支出				千円			千円	I		千円	*値目標に掲げた展示入館の平均入館者数を設定しま	者数は、合併以前
		県 支 出	金			千円			千円	١		千円	<u> </u>	
	直接事業費	地 方	債			千円			千円			千円	士坦 压力 足 必 恣 妙 龄 一 点	三間約2千人前後三間約3千人前後
D	臣以于不良	その他特定則				7 千円			15 1 F	_		50 千円		
0		一般財	源			0 千円			5,494 千円			5,722 千円		
		計(A)	.π. +π. ο	100 1	4,71		0.100		5,509 千円			5,772 千円		
		正職員工数:		.100 人	60	9 千円	0.100	人	604 千円	0.100	人	606 千円	4	
	人件費(B)	会計年度任用職員		000 1		0	0.000		^	0.000	1	^ ~=		
	会は事:	会計年度任用職員工数 業費(A+B)	以: 栓質 0	.000 人		0 千円 6 千円	0.000	<u> </u>	0 千円 6 112		人	0 6,378 千円	4	
	土冲争	未貝(ATD)			5,32	U 十円			<mark>6,113</mark> 千円			<mark>で,578</mark> 十円	1 [

				チ	ェック項目					_	·次評值	Ш		_	-次評価(の説	明		二次	評価	i
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	,	大きし	L)	施設管理 す。	の維持管	理に	努めま	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次	年度以降	実施す	トる緊急性が認	忍められない。	0	ない		ある						0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の「	句上のために	、現在の手	段、左	法等の改善の	余地がある。	•	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサーb			近隣自	目治体と比較し	ノてニーズを -	0	いる	•	いなし	۸,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	に、事業内	容が必	がずしも適切とい	まいえない 。	0	いえな	い (いえる	3		俗資料なる 、公共施			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への責	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 💿	いえる	3	計画に基	づいた計			0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重	複した	と事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなし	۸,	理を行い	ます。			0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	をしても成果	の向上が	期待で	ごきない 。		0	できな	い (できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣っ	ている	ると思う。		0	目標に	比べて会	劣ってい	る		の興味関展やイベン			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上	がって	こいないと思う	5 。	0	あまり」	上がってl	いない			、入館者均			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成	してし	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	る
	·~	4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達	成して	こいると思う。		Ō	十分遺	酸して	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	زر، آدر،				0	高い	•	適当			記繋がる の事業展開			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな	制度を	た活用できる。		0	できる	0	できた	ない	ントなこり	り 争 未 成 ほ	別〜子	びひまり。	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施	手段等	ទを見直す余 地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更	などによ	りコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
						-次評									_	次評					
	評値	西点	必要性	有効性	達成		効率性	総合評	価		必要	性	1	対性	達成	芰	効率	生	総	合評	-価
	今往	を の	3 ○ 拡大·充	<mark> 4</mark> (字 (●) 現	_ <u>3</u> !状維持	To	<u> 4 </u>	A ○ 民間委記	千等	(<u>4</u>)拡:	 大 · 充 ː	<u></u>		<u> 4 </u> 比維持		4 方法改善	Ė		A 『委記	 £等
A		向性			終期設定	Tŏ	廃止/休止		<u> </u>) 縮		Ô	統合/終		_	廃止/休				
C			展市 足炎炎	±1 +> じの旧#	三. 亿方. 屈	_ 13.7	 ぶ資料に関する	田木 . 四克 しが	5 	***		_	二次	評価での)指摘事项	頁及で	ゾー次評	価と	の相違点	į	
T-0		面の!題	務があるため	、専門的なノ	ウハウをも	つ業	が具料に関する 者への委託の 向上を図ります	食討、活発な普		発力				め、イベン		や展え	示方法にも	もエキ	€し、施設	の空	調設備や
N		革案 実行 ·画	文化財への めます。	興味関心が持	てるよう、	イベン	ト事業を実施し	入館者が増え	るよう	i 多 ·	屋根の値	多繕も、	、早急	急に計画し	ンます 。						
	委員 指摘	員会 i事項	sha																		